

平成26年度版

「まちの仕事と予算」

山形県最上町

選択と集中 確実な政策実行による
元気なまちづくりの推進



広報もがみ
町制施行
60周年記念

2014年4月発行

町の主な歴史

- S 29 最上町が誕生。人口17,439人。初代町長に二戸又治氏が就任。
S 30 赤倉小校舎落成。
S 32 大堀小・満沢小校舎落成。
S 33 町章制定。瀬見小中校舎落成。
S 34 新庄北高向町分校校舎落成。
S 35 愛宕保育所開設。
S 36 第二室戸台風で町内に被害大。
S 37 菊池満義氏が第2代町長に就任。
S 38 満沢鉱山が閉山。
S 42 大堀鉱山が閉山。
S 43 花立峠越し林道が開通。
S 44 旧有路家住宅重要文化財に指定。
S 45 中村仁氏が第3代町長に就任。
S 47 皇太子殿下と同妃殿下が来町。
S 48 コミュニティセンター落成。
S 49 町民憲章制定。全国中学生スキー大会が赤倉で開催される。
S 52 赤倉保育所完成。山刀伐トンネルが開通。
S 53 町民体育館落成。向町小新校舎落成。
S 54 町営住宅赤倉団地落成。
S 55 特別養護老人ホーム「紅梅荘」落成。
S 56 大堀小新校舎落成。
S 57 中部地区県営圃場整備完成。
S 58 富沢小新校舎落成。集団赤痢発生。
S 59 赤倉小新校舎落成。西公園野球場落成。
三陸町と姉妹都市を締結。
S 60 大堀保育所新築落成。
S 61 最上中開校。温水プール落成。
S 62 富沢保育所新築落成。
S 63 おらだすの宿・りんどう落成。
H 1 瀬見小校舎落成。
H 2 ふれあい学園落成。月橋小校舎落成。
H 3 前森高原自然ふれあい館落成。
H 4 東法田小校舎落成。ペニーナ国体炬火リレー出発。町美化条例を制定。
H 5 西部地区圃場整備事業落成。東法田の大アカマツが日本一に認定される。
H 6 町立最上病院・健康センター落成。
H 7 下・立小路地区農業集落排水事業が供用開始。高齢者福祉センター、健康クラブ落成。
H 8 「第48回保健文化賞」受賞。
H 9 介護老人保健施設「やすらぎ」落成。
H 10 学校給食センター落成。
H 11 最上町情報公開条例の制定。
H 12 満沢小校舎落成。公共下水道向町処理区供用開始。
H 13 地域間交流施設落成。赤倉温泉スキー場新装オープン。
H 14 天皇・皇后両陛下が本町をご訪問。高橋重美氏が第4代町長に就任。
H 15 最上町100万人交流促進条例の制定。最上町農業振興条例の制定。
H 16 第18回国民文化祭「俳句一般の部」開催。最上町農業振興条例の制定。
H 17 第59回国民体育大会冬季大会スキー競技会(開会式・アルペン競技)を開催。アスパラガスの一大産地化に挑戦。
H 18 アスパラガス初出荷。菌床センター建設。アタゴども園開園。
H 19 トリノ五輪に曾根田千鶴選手出場。最上小国川穴あきダム新規建設採択。
H 20 バイオマスマスボイラ施設完成。陸羽東線にみのり号走る。下白川橋開通。
H 21 すこやかプラザ完成。(アタゴども園・子育て支援センターひまわり)マスターズスキー大会開催。
H 22 東日本大震災発生。
H 23 瀬見小学校が大堀小学校へ統合。
H 24 紅梅荘移転。
H 25 満沢小学校が向町小学校へ統合。赤倉温泉スキー場を町直営施設として運営開始。光通信設備工事が完成。町道愛宕山駅前線改良工事が完成。

最上町讃歌

(四季を詠む)

作詞 尾形 久満喜
作曲 東海林 豊

1. ナダレの跡に マンサクの
素朴な花に 春を知り 4. 山は紅 あや錦
裾野に咲いた カタクリは もゆる心の 青春を
最上乙女の胸 もやす 今ぞたたえて 謳うらむ
カスミたなびく 古里は 夕焼空に 照り映えて
アーハ みちのくの最上町 紅葉輝く 古里は
アーハ みちのくの最上町
2. 雪シロたたえ 小国川 5. 処女雪踏んで シュプールを
シブキを上げて 湧をまく 描くしあわせ 君と僕
最上男子の 気が勇む 雲間をもるる 陽を浴びて
田畠うるおし たゆるなく 若鮎おどる 古里は 色もあざやか とりどりに
アーハ みちのくの最上町 雪に花咲く 古里は
アーハ みちのくの最上町
3. 四方の山々 緑濃く
そよ吹く風も サワヤカに
カジカ鳴く音に 湯の香り
湖畔の宿に 旅情湧き
ロマン花咲く 古里は
アーハ みちのくの最上町

最上町章



最上町の“も上”を図案化したもので、誕生した最上の和を、飛躍発展の姿に象徴したものです。(昭和33年1月8日制定)

町の概要

最上町は山形県の東北部に位置し、秋田県湯沢市、宮城県大崎市などに隣接している農林業と観光の町です。町域中央部には小国盆地が開けているものの、大部分は奥羽山脈に属する山岳・丘陵地帯で、最北端には標高1,367mの小又山、最南端には1,075mの翁山がそびえています。気候的には寒冷地多雨で、夏季には東風が吹き抜け、冬季は多雪。四方が峰によってさえぎられているため、かつては“小国”と呼ばれ、ひとつの独立圏を形成してきました。基幹産業は稲作を中心とした農業で、畜産や園芸を組み合わせた複合経営も進んでいます。また、温泉や高原を利用した観光にも力を入れており、近年、県内外から多くの観光客が訪れています。

町民憲章

- 自然を活かし緑を守り、のびのびとした町をつくりましょう
- みんながいにたすけあい、住みよい町をつくりましょう
- 心身ともに健やかな、明るい町をつくりましょう
- 励ましながら働いて、豊かな町をつくりましょう
- 教養をたかめ明日をひらく、文化の町をつくりましょう



町の色●みどり

私たちの心を一番安心させてくれる色、それが緑です。町を包む自然の色、川面に写り青空に映えて、私たち町民の健康を象徴しているかのようです。未来に向けて町の限りない発展と飛躍を表現している色です。

町の木●うめ

「花は梅」と言われるように、花の代表として賛美され続けた梅花。それは清楚、そして気高く優美。百花に先駆けて咲きその香りは春の夢を説いています。また、その実は食用として実用化され、美と健康と生産の町の象徴です。

町の花●りんどう

りんどうの花は、古来、美しさの中にも可憐さをたたえた藍色の花として人々に愛されてきました。自然の野山に咲き、微笑むように揺れる様は“思い出草”的愛称を持っています。永遠の夢を育む町の象徴です。

町の鳥●山鳥

素朴でありますながら、その強さと美しさを無限のうちに私たちに教えてくれる鳥「山鳥」。山鳥は町内の山々に多く生息し、親しみやすさの中にも雄々しさ、壯厳さをたたえています。町の発展の象徴として最もふさわしい鳥です。

町の獣●かもしか

特別天然記念物として、町内で毎年少しづつ増え続けている「かもしか」。厳しい自然とたましく戦いながら、山や野を駆けめぐるその姿は、まさに町の代表的動物であり、自然と人間の未来像を教えてくれます。

こんなときどうする？ 暮らしに便利な情報集

【手続き関係】

●介護支援や身体障がい者などの福祉サービスを受けたいとき●
最上町地域包括支援センター、または、健康福祉課福祉係にお問い合わせください。

●福祉サービスを利用したいとき●
健康福祉課にご相談ください。また、地域では民生児童委員が相談窓口になっております。

●年度の途中で保育所に子どもを入所させたいとき●
幼児教育課（すこやかプラザ内）にお問い合わせください。

●古川駅の町の駐車場を利用したいとき●
町民税務課の窓口で「許可証」を発行いたします。手数料は、400円です。発行手続きには、車検証が必要です。

●休日に「死亡届」の手続きを行うとき●
休日の場合は、役場の日直者が対応しますので、正面玄関うらの職員用玄関からお入りください。届出に必要なものは、死亡診断書と印鑑（届出者の印鑑）です。この時点では、火葬場使用の手続きのみとなりますので、他の手続きについては、休み明けに役場町民税務課の窓口で行なってください。

【主な相談窓口】

●人権にかかわる相談は●
人権擁護委員が相談に応じます。
・高橋 憲邦（向町）☎43-2028 ・佐藤 静子（向町）☎43-3375
・二戸 信子（向町）☎43-3083 ・菅 清一郎（白川端）☎44-2631
・石山不仁男（新田）☎45-2331

●子どもの教育についての相談は●

町の教育相談員及び適応教室指導員がご相談に応じます。
教育相談員
・笠原さよ子（向町）☎43-2205 ・細矢ヒロエ（本城）☎43-3004
・尾形由美子（通っている小中学校を通してお申し込みください。）
適応教室相談員
・中嶋より子（通っている小中学校を通してお申し込みください。）

●生活費に困り相談にのってもらいたいときは●

病気やけがなどにより、働けなくなつて生活が困窮したときは「生活保護」などの制度がありますので、健康福祉課福祉係にご相談ください。また、地域では民生児童委員が相談窓口になっております。

●行政の手続き等で不服があるときは●

行政相談委員の阿部誠一郎さん（月橋・☎43-3316）にご相談ください。

●乳幼児の離乳や発育・発達・子育て等の相談は●

健康福祉課保健指導係までご相談ください。

●子育てについての相談は●

幼児教育課（すこやかプラザ内）までご相談ください。

●消費者相談は●

悪徳商法などの被害にあったときは、役場町民税務課、または、県消費生活センター（☎023-624-0999）、最上消費生活センター（☎29-1370）、最上町駐在所（☎43-2110）にご相談ください。

●町営住宅への入居の相談は●

役場建設課までご相談ください。

●平成25年度「ふれあい総合相談」のご案内●

町では、町民のみなさんの生活にかかわる総合的な相談窓口を開設しています。今年は年3回の相談日を予定しています。相談は無料です。

- 関係機関
- 社会福祉協議会 ☎43-3180
 - もがみ南部商工会最上事務所 ☎43-2184
 - 最上町観光協会 ☎43-2233
 - JA新庄もがみ 最上支店 ☎43-2171
 - JR最上駅 ☎43-2009
 - 社会福祉法人 豊寿会 ☎43-3661
 - 社会福祉法人 千宏会 ☎44-2355
 - みんなの家 ☎43-9270
 - 最上町駐在所 ☎43-2110
 - 赤倉駐在所 ☎45-2110
 - 大堀駐在所 ☎44-2110
 - 瀬見駐在所 ☎42-2110
 - 最上郵便局 ☎43-2005
 - 赤倉郵便局 ☎45-2600
 - 大堀郵便局 ☎44-2600
 - 瀬見郵便局 ☎42-2137
 - 東消防支署 ☎43-2008



町内の主な施設

- 役場(代表) ☎43-2111
- 健康福祉課 ☎43-3117
- 地域包括支援センター ☎43-3117
- 産業振興センター ☎43-2340
- 幼稚教育課 ☎43-2247
- 中央公民館 ☎43-2350
- 大堀地区公民館 ☎44-2820
- ※富沢地区公民館 ☎45-2527
- 町立最上病院 ☎43-2112
- 高齢者総合福祉センター ☎43-3181
- 老健施設・やすらぎ ☎43-3378
- やすらぎの家 ☎43-3125
- 陽だまりの家 ☎43-3183
- 給食センター ☎43-2104
- 前森牧場 ☎43-3025
- 前森高原ピアハウス ☎43-3522
- FAX 43-3292
- 農遊館 ☎43-3522
- ふれあい陶芸館 ☎43-2928
- 町民体育館・温水プール ☎44-2226
- 封人の家（12～3月 休館） ☎45-2397
- ※お湯トピアもがみ ☎45-2424
- 簡易宿泊所りんどう ☎44-2822
- ふれあいの里運動公園（ふれあいの里） ☎45-2033

- マンスリーマンションせんしん館 ☎45-3533
- 赤倉温泉スキー場管理センター ☎45-2901
- 大場満郎冒険学校 ☎43-4563
- ※除雪センター（問合せ/建設課） ☎43-4114
- ※向町浄化センター（問合せ/建設課） ☎43-4601
- 向町小学校 ☎44-2001
- 富沢小学校 ☎45-2811
- 月橋小学校 ☎43-2597
- 東法田小学校 ☎43-2799
- 赤倉小学校 ☎45-2810
- 最上中学校 ☎43-4115
- 新庄北高最上校 ☎43-2349
- あたごこども園 ☎43-2346
- 大堀保育所 ☎44-2804
- 富沢保育所 ☎45-2821
- あかくら幼稚園 ☎45-2548
- みつわ幼稚園 ☎43-2020

※は職員が常在しません。

住民係窓口利用のお知らせ

《戸籍・住民票・印鑑証明・税証明等の交付》

・戸籍・除籍の証明書を申請するときは？

必要とする戸籍を申請する方が本人、配偶者、子、孫、父母、祖父母または弁護士等は、申請書の申請者の欄に記載、押印し、必要事項を記入して申し出ください。

申請者との関係が上記の方以外の場合は、請求事由（正当な事由）を具体的に記入していただくか、委任状が必要になる場合があります。

・住民票、税証明（納税・所得・資産等）を申請するときは？

本人、または、同一世帯の方が申請することができます。同一世帯以外の方は、委任状が必要となる場合があります。税証明については印鑑が必要です。

・印鑑登録証明書を申請するときは？

印鑑登録をされている方は、登録証（カード）を持参していただければ、本人、本人以外を問わず申請することができます。ただし、申請書には、登録されている方の住所・氏名・生年月日の記載が必要です。

・身分証明書の交付は？

印鑑、本人確認のため運転免許証などを持参してください。
原則、本人申請のみとなります。



《健康保険・年金の手続き》…14日以内に届出を！

・社会保険・厚生年金に加入したとき

印鑑、国民健康保険証、年金手帳

新しく加入した社会保険の被保険者証または社会保険加入証明書、厚生年金加入証明書を持参してください。

・社会保険・厚生年金を脱退したとき

保険年金資格喪失証明書を持参して、国民健康保険と国民年金加入の手続きをしてください。

《印鑑登録の手続き》

・はじめて印鑑登録をするとき

登録する印鑑、本人確認のため運転免許証などを持参してください。

登録の手続きは、本人が行うのが原則ですが、代理人が行うこともできます。代理申請の場合は、本人宛に照会書を郵送し、代理人が回答書を持参することにより登録を受理いたします。（この場合、日数がかかるのでご注意ください）

《住所の異動があったときの手続き》…14日以内に届出を！

・転入（他の市町村から住所を移したとき）の届出

前住所地の市町村発行の転出証明書・印鑑、住基カード（交付中の方のみ）、前に住んでいた市町村で各種手当や給付を受けていた場合、それらの証明書も持参してください。

・転出（他の市町村へ住所を移すとき）の届出

印鑑、住基カード（交付中の方のみ）、国民健康保険証等（加入者）、印鑑登録証（登録者）を持参してください。また、引越する日と引越し先の住所を明記できるようにしてください。

・転居（町内で住所が変わったとき）の届出

印鑑、住基カード（交付中の方のみ）、国民健康保険証等（加入者）を持参してください。

《戸籍の届出》

・主な戸籍の届出は

出生届・婚姻届・離婚届・死亡届・転籍届・入籍届・養子縁組届・養子離縁届などがあります。

これらについては届出の期間、必要なものが異なりますので詳細は事前に住民係へ電話等でお問い合わせください。

戸籍法・住民基本台帳法の一部改正により、平成20年5月1日から窓口での「本人確認」が法律上のルールになりました。

戸籍の届出、戸籍証明書の交付、住民票等の交付、転出・転入等の届出などで役場に来られた場合

⇒窓口に来られた方について、運転免許証、写真付住基カードなどの写真付本人確認書類^(※1)の提示により、確認を行います。

郵送による証明書の申請方法

- ・本人・配偶者・子・孫・父母・祖父母等の場合は、必要事項（必ず連絡先の電話番号）を申請書に記入して、申請することができます。これら以外の方は、委任状が必要となります。
- ・申請する際は、申請書（委任状）・本人確認書類^(※1)のコピー・交付手数料（申請した証明書の料金分の郵便小為替）・返信用の封筒（返信先の住所・氏名を記入し、切手を貼ったもの）を同封し、役場住民係まで郵送してください。

（※1）本人確認ができるものとは？

- ①住民基本台帳カード、旅券、運転免許証、在留カードまたは外国人登録証などの官公署が発行した本人の写真が貼付されているもの。
- ②①をお持ちでない場合は、各種健康保険の被保険者証、年金手帳、各種年金証書、住基カード（写真なし）などのうち2点。

延長窓口のお知らせ

日中、都合で時間内（5時まで）に役場に来られない方のために、住民係では窓口業務を延長しております。ぜひご利用ください。

・実施日：毎週月曜日（祭日の場合は翌日）夜6時30分まで

・住民係窓口で取り扱っているものが対象になりますが、葬祭費などの現金の支払いに関するものは、翌日の取り扱いとなりますのでご了承ください。

*住民係窓口について、ご不明な点がありましたら電話等で気軽にお問い合わせください。

*住民係窓口についての詳しい情報は、最上町ホームページ>暮らしのガイド>手続き・証明に掲載しています。

◆お問い合わせ 町民税務課住民係 ☎ 43-2111（代表） ☎ 43-2012（直通）

町立最上病院 診察の案内 TEL43-2112

■診療科目 ◦内科 ◦整形外科 ◦外科 ◦眼科 ◦産婦人科

■病床数 ◦一般病床 50床 ◦療養病床 20床

■外来診療受付時間

◦午前の受付時間／午前8時～午前11時30分

◦午後の受付時間／午後1時30分～午後2時30分

◦夜間診療の受付時間／午後5時30分～午後7時30分 (夜間診療は「内科のみ」です)

■診療日

《内科》・月曜日～金曜日／午前診療・午後診療

※水曜日は夜間診療もあります。※木曜日の午後は休診になります。

《整形外科》・毎週金曜日と第2・4水曜日／午前診療

《外科》・毎週月曜日／午前診療・午後診療

《眼科》・毎週月曜日と木曜日／午前診療

《産婦人科》・毎週金曜日／午前診療

■休診日 ◦土曜日 ◦日曜日 ◦祝日 ◦年末年始 (12月29日～1月3日)

■当院は「救急指定病院」です

当病院は救急指定を受けていますので、緊急の場合はいつでも対応いたします。

■健康診断

◦1日ドック (一般検診) ◦1泊2日ドック ◦検診日 月・火・水・金

訪問診療・訪問看護

在宅で療養する方に対し、訪問診療・訪問看護を行なっています。

お気軽にご相談ください。

◦訪問日／月～金曜日 (午前9時～午後5時) 但し、緊急の場合は随時対応しております。

高齢者総合福祉センター TEL43-3181 (年中無休)

■利用時間 午前9時～午後9時 但し月曜日は午後7時まで

■施設概要 浴室・和室80畳・娯楽室10畳2室・調理実習室

健康クラブ

■利用時間 ◦月・土・日曜日及び祝祭日
午前9時00分～午後5時00分まで
◦火～金曜日
午前10時30分～午後9時00分まで

■施設概要 トレーニングルーム・フィットネスルーム
更衣室 (ロッカー・シャワー完備)



最上西公園 体育施設 ご利用の案内 (月曜日休館) TEL44-2226 (FAX兼用)

【町民体育館】 バレーコート 2面

■利用時間 午前9時～午後9時まで

■利用料金 幼児・小中学生1回50円

上記以外 1回100円 団体料金ご相談ください。

【温水プール】 25m・6コース、幼児プール

■利用時間 午前10時～午後8時まで

■利用料金 幼児無料・小中学生1回100円

上記以外 1回300円 (夜間400円)

回数券 (10回) 小中学生80円

上記以外の者 2,500円 (夜間も同じ)

団体料金・コース専用使用はご相談ください。

【野球場】 両翼90m、天然芝

■利用時間 午前9時～

(上記以外はご相談ください)

■利用料金 午前3,200円・午後4,400円、

1日7,000円

9時以前及び17時以降は1時間700円

【多目的広場】 サッカーゴールあり

■利用時間 午前9時～午後9時まで

(上記以外はご相談ください)

■利用料金

(1) 専用して使用する場合

区分	使用的単位	昼間利用料金		
		全面	サッカーフィールド	グラウンドゴルフ
幼児、小中学校の児童生徒の場合	1時間	300円	200円	100円
上記以外の者である場合	1時間	600円	400円	200円

(2) 個人使用の場合

区分	使用的単位	利用料金
幼児、小中学校の児童生徒の場合	1人1回	50円
上記以外の者である場合	〃	100円

(3) 夜間照明灯利用料金

区分	使用的単位	利用料金
幼児、小中学校の児童生徒の場合	1時間	500円
上記以外の者である場合	〃	1,000円

町内の給水装置工事事業所

- ・(有)佐藤ポンプ商会 (向町) ☎43-2471
- ・吉田ポンプ店 (向町) ☎43-2223
- ・菅薬店 (向町) ☎43-3620
- ・佐藤設備工事 (赤倉) ☎45-2726
- ・(有)菅幸住設 (下小路) ☎45-2504
- ・黒坂鉄工所 (向町) ☎43-3039
- ・最北菅工 (野頭) ☎44-2744
- ・(有)大場設備 (満沢) ☎43-2534
- ・パイプライン工業株式会社 (若宮) ☎43-3575
- ・マルミ住設 (赤倉) ☎45-2965
- ・引地修工 (若宮) ☎43-4178
- ・株式会社最上振興 (向町) ☎43-3875

町内の排水設備工事指定店

- ・株式会社大場組 (白川端) ☎44-2424
- ・株式会社最上振興 (向町) ☎43-3875
- ・株式会社丸保大沼組 (若宮) ☎43-3659
- ・株式会社大沼建設 (向町) ☎43-2209
- ・株式会社小川建設 (向町) ☎43-2387
- ・(有)早坂組 (上鶴巣) ☎44-2321
- ・(有)高橋産業 (沢原) ☎43-3219
- ・(有)佐々木建設 (向町) ☎43-2231
- ・(有)佐藤ポンプ商会 (向町) ☎43-2471
- ・(有)大場設備 (満沢) ☎43-2534
- ・(有)菅幸住設 (下小路) ☎45-2504
- ・(有)高木建設 (月橋) ☎43-2830
- ・吉田ポンプ店 (向町) ☎43-2223
- ・佐藤設備工事 (赤倉) ☎45-2726
- ・黒坂鉄工所 (向町) ☎43-3039
- ・山田建設株式会社 (本城) ☎43-2168
- ・株式会社北山建設 (若宮) ☎43-2232
- ・パイプライン工業株式会社 (若宮) ☎43-3575
- ・清藤設備 (向町) ☎43-3620
- ・株式会社大沼工務店 (月橋) ☎43-2588
- ・マルミ住設 (赤倉) ☎45-2965
- ・(有)月光土建 (月橋) ☎43-2620
- ・引地修工 (若宮) ☎43-4178
- ・株式会社アイティック東北 (清水町) ☎44-2657
- ・最上町浄化槽整備株式会社 (向町) ☎43-2184



最上町主な施設の使用料等について (平成26年4月1日現在)

消費税の改定等に伴い、4月1日から施設使用料が下記のとおり改正されます。

① コミュニティセンター（中央公民館）関係

使用区分 及び方法等	基本使用料		追加使用料		備 考	
	昼間(円)	夜間(円)	昼間(円)	夜間(円)		
団体使用料	大ホール	6,480	7,560	650	760	1、基本使用料とは、使用時間4時間までの額をいいます。 2、追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。 3、練習等のため舞台面のみ使用する場合の使用料は、1時間につき1,080円とします。 4、興行若しくは営業用に使用する場合は、使用料の2倍に相当する額を徴収します。
	町民いこい室	1,410	1,620	330	430	
	2階研修室	1,410	1,620	330	430	
	調理実習室	860	1,080	330	430	
	小会議室	860	1,080	160	210	
	みどりホール	1,730	2,160	330	430	
	3階研修室	1,410	1,620	330	430	

② 生活改善センター（富沢地区公民館）関係

使用区分 及び方法等	基本使用料		追加使用料		備 考	
	昼間(円)	夜間(円)	昼間(円)	夜間(円)		
団体使用料	大集会室	2,490	3,240	480	650	1、基本使用料とは、使用時間4時間までの額をいいます。 2、追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。 3、興行若しくは営業用に使用する場合は、使用料の2倍に相当する額を徴収します。
	小集会室	860	1,080	160	210	
	研修及び資料室	860	1,080	160	210	
	調理実習室	860	1,080	160	210	

③ 基幹集落センター（大堀地区公民館）関係

使用区分 及び方法等	基本使用料		追加使用料		備 考	
	昼間(円)	夜間(円)	昼間(円)	夜間(円)		
団体使用料	集会室	2,490	3,240	480	650	1、基本使用料とは、使用時間4時間までの額をいいます。 2、追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。 3、興行若しくは営業用に使用する場合は、使用料の2倍に相当する額を徴収します。
	研修室	860	1,080	160	210	
	調理実習室	860	1,080	330	430	
	娯楽室	980	1,290	330	430	

④ 産業振興センター関係

使用区分 及び方法等	基本使用料		追加使用料		備 考	
	昼間(円)	夜間(円)	昼間(円)	夜間(円)		
団体使用料	第1研修室	2,490	3,240	480	650	1、基本使用料とは、使用時間4時間までの額をいいます。 2、追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。 3、興行若しくは営業用に使用する場合は、使用料の2倍に相当する額を徴収します。
	第2研修室	860	1,080	160	210	
	和室研修室	860	1,080	150	210	
	相談室	860	1,080	150	210	

⑤ モデル木造施設（お湯トピアもがみ）関係

使用区分 及び方法等	基本使用料		追加使用料		備 考	
	昼間(円)	夜間(円)	昼間(円)	夜間(円)		
団体使用料	多目的ホール	6,480	7,560	650	760	1、基本使用料とは、使用時間4時間までの額をいいます。 2、追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。 3、興行若しくは営業用に使用する場合は、使用料の2倍に相当する額を徴収します。
	研修室	2,490	3,240	490	540	
	展示室	1,410	1,620	330	430	
	小会議室	860	1,080	330	430	
	展示ロビー	860	1,080	330	430	
	調理室	860	1,080	330	430	
	備考					

⑥ いきいきハウス関係

使用区分 及び使用方法	基本 使用 料			備 考
	種 别	単 位	使 用 料(円/1月)	
1号棟から4号棟	育苗	m ²	720	・重油等の燃料使用料は、実費負担とします。
	枝物促成	m ²	720	
	株越冬	株	40	
	鉢物越冬	個	40	

⑦ 前森地域活性化施設利用料

施 設 名	種 別	単 位	利 用 料 金(円)	備 考
オートキャンプ場	施設利用料	1 人	200	3歳以下無料
	バンガロー 1基	1 泊	3,600	
	区画サイト 1区画	1 泊	3,600	
	フリーサイト 1張	1 泊	2,000	
もがみ農遊館	多目的ホール	半日	4,110	半日は4時間とする。 冬期間は暖房料が加算されます。
	会議室	半日	1,030	
	調理実習室	半日	1,540	
	加工実習室	半日	1,540	
	農遊館宿泊	1 泊	2,060	布団シーツ付
	シャワー	1 人	310	3歳以下無料
	コテージ (定員4名まで)	1 棟	18,510	追加料金1人につき 1人
		1 人	4,110	
キャビン (定員4名まで)	1 棟	12,340		
	1 人	2,570		追加料金1人につき
乗馬場	引き馬 (場内)	1 周	510	
	体験レッスン	30分	3,090	
	乗馬レッスン	40分	5,140	
	乗馬教室コース	全5回	20,570	
	トレッキング(外乗)教室コース	全5回	20,570	
農産物直売施設		1ヶ月	10,280	

備考 1 キャンプ場の利用時間は、午後1時から翌日の午前1時までとします。

2 コテージ・キャビンの利用時間は、午後3時から翌日の午前10時までとします。

3 乗馬場の利用時間は、午前10時から午後4時までとします。

⑧地域間交流施設（冒険学校）関係

使用区分及び方法等	単位	使用料(円)	追加使用料(円)	備考
一般宿泊	1人1泊	2,800	—	1 講義室ならびに和室の使用料は、使用時間4時間までの額をいいます。
中学生以下宿泊	1人1泊	2,160	—	2 追加使用料とは、超過時間1時間ごとに加算する額をいいます。
講義室	半日	3,240	810	
和室	半日	1,940	490	

⑨赤倉温泉スキー場附帯施設使用料関係

施設名	利用区分	利用単位	利用料金(円)	備考
お湯トピアスキー カレッジ	研修室	半日	1,030	1 1日は8時間とします。
	小会議室	半日	510	2 興行若しくは営業用に利用する場合は、2倍の額の利用料金を徴収します。
	更衣室	半日	310	3 利用料金には、消費税相当額を含むものとします。
スタートハウス		1日	1,030	
スキーゴールハウス	会議室	1日	1,030	
	ミーティング室	1日	1,030	

上下水道に関する料金の改正について

消費税の改定等に伴い、各種手数料は4月1日から、水道・下水道・農業集落排水・浄化槽の各使用料は6月1日から新料金へ改正されます。ご利用の皆様のご理解とご協力をお願いします。

《平成26年4月1日から適用の新手数料》

- 水道閉栓手数料 2,700円（税込金額です）
○その他手数料 ※水道分岐料など、その他の費用についてはお問い合わせください。

《平成26年6月1日から適用の新使用料》

下記の使用料については、冬期間のメーター検針できなかった期間の精算を踏まえ、消費税の特例等により6月1日以降の適用となります。

○水道使用料（税込金額です）

メーター器の口径	基本水量	基本料金	超過料金
13ミリメートル	5m ³ まで	1,030円	基本水量を超えた部分について、 1m ³ につき230円
20ミリメートル	10m ³ まで	2,180円	
25ミリメートル	10m ³ まで	2,390円	
30ミリメートル	10m ³ まで	4,330円	
40ミリメートル	10m ³ まで	6,600円	
50ミリメートル	10m ³ まで	12,000円	

○下水道使用料（税込金額です）

基本汚水量	基本料金	超過料金
5m ³ まで	650円	基本汚水量を超えた部分について、 1m ³ につき150円

○農業集落排水使用料（税込金額です）

施設使用区分	基本料金	人員割料金
一般家庭用	2,060円	世帯員1人当たり 310円
営業用	2,570円	従業員1人当たり 100円

○浄化槽使用料（税込金額です）

浄化槽人槽区分	使用料の金額（月額）
5人槽	4,100円
6～7人槽	5,620円
8～10人槽	6,910円
11～15人槽	7,130円
16～20人槽	8,640円
21～25人槽	11,660円
26～30人槽	13,390円
31～40人槽	16,420円
41～50人槽	22,030円

○お問い合わせは 最上町役場建設課 TEL.43-2111まで



「選択」と「集中」

確実な政策実行による元気なまちの推進

平成26年度 町政運営の基本的な考え方

平成26年度は、町政施行60周年の記念すべき大きな節目の年です。「次代を担う子供や若者たちが、この最上町をこよなく愛し、誇りを持ち続けることができること」を念頭に、誇りある地域文化や環境、良好な地域社会の信頼関係などの内面的な豊かさや、精神的な充足感とそれを支える地域経済力の向上が豊かに調和した地域社会を目指すために、平成26年度は次の7つの項目を重要政策課題とし、所期の目的や目標の実現・達成に向けて従来の手法に捉われることなく、国・県等の縦軸と関係各課の横軸の連携を図りながら直面するまちづくりをすすめてまいります。

重点施策

1 地域を元氣にする産業の振興

農業総生産額50億円の目標達成と国の農政の大転換期を控え、活力と魅力ある農林業の振興に努めます。加えて、産業振興センターを拠点に、6次産業をはじめ、農観商工連携による総合型産業の推進を強化します。

2 少子化と若者定住対策に向けた実効ある施策・事業の展開

関係機関・団体等との連携を強め、取り組むべき最重要課題として位置付け、住環境や後継者対策等の即時対応（住環境整備）と中長期を見据えた対応（教育力向上）の両面から施策を展開します。

3 地域自治の振興による安全安心なまちづくりの推進

道路や上下水道・住宅等のインフラ整備、豪雪・豪雨等の防災・減災対策、環境衛生等の生活基盤の整備に向けた一体的な取り組みの展開と、「自助」「共助」「公助」による地域コミュニティ力の向上推進と安全安心な暮らしに向けた基盤整備を図ります。

4 地域包括ケアの推進と健康づくり・地域福祉の充実

医療や介護、年金等の社会制度が大きく変革するなか、地域包括ケア体制の更なる充実をはじめとする“第2次ウエルネスタウン最上21計画”を規範とする着実な施策・事業の展開を図ります。

5 郷土を愛し、郷土を支える教育の充実と誇れる地域文化の向上

まちづくりの主体の一つに次代を担う青少年を据え、郷土を愛し、郷土を支える青少年の育成と、有形無形の地域資源を生涯学習活動から地域コミュニティ力の向上へと誇れる文化の醸成に努めます。

6 地域資源の活用と環境エネルギーの持続的・発展的・社会の構築

環境と資源の持続両立は、後世への安全安心な社会を引き継ぐ大きな役割を持っています。再生可能エネルギーは次世代に安全安心をつなぐ地域資源であり、その活用を産業に結び付け、持続かつ発展的な取り組みを推進します。

7 健全な財政運営の維持に向けた取り組み強化

税収等の収納率向上に向けた多面的な対策強化とともに、予算の歳入と歳出を連結させた効率的な施策・事業の執行に努めます。



重点施策 1

地域を元氣にする産業の振興

5億2,842万円

1. 農業生産額50億円を達成する各種農林施策の展開 29,055万円

戦略的園芸産地拡大支援事業補助金

園芸品目のワンランク上の産地づくりを行うため生産資材や管理機械の導入に補助支援します。

強い農業づくり交付金事業補助金（新規）

国の補助を受けて、肥育牛団地の造成の支援を行います。

畜産生産規模拡大支援事業

県の補助を受けて、和牛繁殖牛を増頭するために畜舎等の新設の支援を行います。

農業生産拡大事業

水田を受託し規模拡大を行う担い手農家の機械等の整備に対し支援を行います。

山の幸振興対策事業

菌茸の生産拡大を図る施設整備に対し支援を行います。

2. 農地の整備・集約による中核的担い手の育成 9,994万円

水田畑地化整備事業

水田を畑地化し野菜や花卉の生産性向上を図るために、暗渠排水工事を行います。

青年就農給付金事業

国の支援により農業従事者の増加を図るために、新たに農業で自立しようとする青年農業者を支援します。

農業基盤整備促進事業

農業用水路の改修や農地の基盤整備を推進します。

日本型直接支払制度（農地維持支払交付金）

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援します。

森林保全推進事業

適正な林齢で間伐を実施することにより、将来の森林価値の増大を図ります。

3. 6次産業の推進による地域農産物の付加価値の拡大 2,095万円

魅力ある地域資源活用創造事業（新規）

地域の資源を活用しながら新たな商品の開発、6次産業の推進を図りながら企業間の連携、人材育成を推進します。

4. 着地型観光の推進と環境整備の充実

8,155万円

赤倉温泉スキー場運営事業

町民に還元できるスキー場として、魅力あるイベントを開催しながら地域の活性化を図ります。

山形DC（ディスティネーションキャンペーン）（新規）・もがみ観光博事業

「森が人をつなぐ」をキーワードに、全国に最上町をPRするため、最上地域の連携した取り組みや最上町の特色を活かしたイベントを開催し、観光産業を推進します。

仙台宮城ポストDC事業

「伊達な旅」をテーマに宮城県「県北エリア」と連携し、広域観光ルートによる誘客拡大を図ります。

瀬見温泉共同浴場改築設計

瀬見公民館移転に伴う新たな共同浴場を新設し、魅力ある観光施設として地域の活性化を図ります。

森林景観整備事業

幹線道路沿いや眺望地などの森林整備を行い、景観の美化を図ります。

5. 地域・地場産業の振興と新たな取り組みへの支援 3,541万円

雇用創出奨励金事業

農業や中小企業者が新たな雇用を生み出した場合、雇用奨励金を交付します。

夢チャレンジ交付金事業

地域資源の効果的な活用による産業の振興、コミュニティビジネスに関する活動について支援します。





重点施策2

少子化と若者定住対策に 向けた実効ある政策実行 2,874万円

1. 若者定住環境の整備と充実

1,963万円

若者定住環境モデルタウン整備事業（新規）

旧紅梅荘跡地を活用したモデルタウンを建設するため、上下水道等インフラ整備設計やエネルギープランを作成します。

2. 移住・定住支援センターの充実

798万円

U J I ターン促進事業

定住促進空き家等利活用事業補助金、移住促進空き家利活用支援事業補助金
町内の空き家利活用のため、空き家を購入または賃貸借した場合、空き家の改修費を助成します。

3. ハッピーサポート活動の推進

112万円

単身者ハッピーサポート登録補助金

やまがた結婚サポートセンターの登録に際し、最上町民の婚活推進のため登録料の一部を補助します。

若者交流促進事業

最上広域での婚活事業や町内で婚活ネットワークづくりを行います。



重点施策3

地域自治の振興による 安全安心なまちづくりの 推進 18億9,640万円

1. いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築 182,287万円

町道整備

町民の交通手段を確保し、快適な利用環境が得られるよう町道の整備を実施します。
(絹出橋補修、薬師原鶴杉線、笹森分校線、楯の内若宮線、上鶴杉中学校線、上鶴杉線、法田中鶴杉線)

流雪溝整備

克雪対策としての流雪溝を整備します。 (法田下鶴杉線、沢原若宮地区導水整備)

浄化槽整備

民間のノウハウや資金力を活用したP F I 事業による市町村設置型合併浄化槽の整備を推進します。

除排雪事業

冬期間の安全な交通を確保するため、除雪作業と計画的な排雪作業を実施します。

役場庁舎耐震補強改修工事

災害に備え役場庁舎の耐震化を図ります。

消防団サポート事業

消防団活性化対策の一環として、消防団員及びその同居する家族が協賛店舗等で「サポートカード」を提示することで、その店独自のサービスを受けることができます。今後、協賛店を募集します。

全自动小型動力ポンプ車購入

集落に配備している小型ポンプ付積載車を計画的に更新する事業で、今年度は新田に全自动小型動力ポンプ付積載車を配備します。

地区公民館分館耐震診断事業＜指定避難所耐震化事業＞

地域の避難所となる公民館の耐震診断を実施し、安心安全な施設として整備します。

緊急通報やすらぎ電話設置事業

単身の高齢者等に緊急通報用の電話を貸与します。

100万人交流シンボルエリア整備事業

ウエルネスプラザと中心市街地の連携によって100万人交流を実現するため、より強固な健康交流シンボルゾーンの整備を行います。

2. 集落自治機能の強化と防災・減災対策の推進

7,353万円

地域防災リーダー育成事業（新規）

地域の防災力向上のため、防災に関する知識と各種訓練の手法を有する人材を育成します。

自主防災組織資機材整備補助事業

各集落の自主防災組織の設立と育成のため、資機材等の整備を支援します。

木造住宅耐震診断・改修補助事業（新規）

住宅の耐震性能の向上を目的とした耐震診断や改修工事費の助成を行います。

非常用発電機購入事業

避難所に発電機を整備し、災害時における電源の確保を図ります。

避難所災害用電話購入事業（新規）

災害時に避難所での安否確認を行うための通信設備を整備します。

富沢小老朽化対策改修事業実施設計委託事業（新規）

屋内運動場改修に向けた実施設計を実施します。

元気な集落づくり応援交付金事業

集落単位に自治組織の運営基盤づくりや地域力向上に向けた取り組みに対して、財政支援を行います。

地域間連携推進交付金事業

地域コミュニティ組織等に対して、集落間連携や地域課題解決のための補助金を交付します。

地域コミュニティ推進事業

公民館活動を行いながら、集落間の結びつきの強化と地域の担い手育成を図ります。



重点施策4

地域包括ケアの推進と健康づくり・地域福祉の充実 48億835万円

1. 第2次「ウェルネスタウン最上21」策定に基づく健康づくりの実践 324,726万円

妊婦乳幼児健診事業

すこやかに生み育てるための健診や相談を実施し、妊婦健診の費用の一部を助成します。

予防接種事業

乳幼児学童予防接種事業

疾病予防のための定期予防接種を実施します。

肺炎球菌予防接種事業

75歳以上の希望者に肺炎球菌予防接種費用の一部を助成します。（平成26年9月まで）

インフルエンザ予防接種事業

高齢者及び1歳から中学3年生までの方に予防接種の費用を助成します。

健康診断事業

がん検診の充実として子宮頸がん・乳がん・大腸がんについて、重点年齢の方に無料クーポンを発行し受診率の向上を図ります。肝炎ウイルスについても同様に重点年齢の方に対して費用の助成を行います。

健康教育事業

各種健康講座で健康情報を伝えています。

自殺予防対策事業

自殺予防のための対策として、相談窓口の周知や心の健康相談を随時開催しています。

高齢者健康づくり事業

重点年齢の方に身体を動かす気持ち良さを体験してもらい、継続して運動習慣を身につけてもらうため、利用券を発行します。

健康相談事業

健康で生活するために必要な相談を受け、支援しています。

訪問指導事業

新生児から高齢者まで家庭に訪問して必要な支援を行います。

食生活改善事業

健康の源は食生活にあり、最上町食生活改善推進協議会が中心となって、減塩教室等様々な料理教室を開催しています。

2. 地域福祉の推進による地域包括ケアの推進 156,108万円

地域ケア会議

- ①地域支援ネットワークの構築 ②高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援
- ③地域課題の把握 を行います。

介護予防事業

地域において積極的に介護予防に向けた取り組みが図れるよう介護予防教室を開催します。

認知症予防地域支援事業

在宅認知症高齢者の介護相談が増加しており、認知症の病気を理解し、接し方を学び地域での見守り体制づくりを図ります。物忘れ相談、認知症サポーター養成講座等を実施します。

転倒予防事業

転倒・骨折の防止や運動器機能低下の予防、向上を図り、継続した運動習慣を身に付けられるよう転倒予防教室を開催します。

家族介護者交流事業

在宅介護されている介護者を対象に介護の方法や介護の予防について、正しい知識を身につけ介護体制をつくりやすくする交流事業を実施しています。

総合相談事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことができるようするため、どのような支援が必要か把握し、適正なサービスや関係機関や制度の利用につなげる支援を行います。

地域福祉推進事業補助金(サロン、ボランティア活動等)

地域福祉の充実や誰もが安心して暮らせる福祉の町づくりを進めるため、地域におけるたすけあい・支え合いの仕組みづくりを構築し、社会福祉を推進します。

臨時福祉給付金事業（新規）

平成26年4月からの消費税率引き上げに伴い、低所得者への影響を鑑み、暫定的、臨時の措置として、給付金を支給します。

子育て世帯臨時特例給付金事業（新規）

平成26年4月からの消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から臨時の措置として給付金を支給します。

軽度生活支援事業

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦の自立した生活を支援するために、軽易な日常生活の援助を行います。



重点施策5

郷土を愛し郷土を支える教育の充実と誇れる地域文化の向上 6億1,854万円

1. 郷土を愛し、この町に住み続けようとする子どもの育成 58,514万円

青少年海外研修制度創設

次世代を担う青少年を海外に派遣し、国際的視野を養うことにより郷土の発展に貢献する人材を育成します。

こども議会

魅力ある最上町になるように、こども議会を通して、一人一人が真剣に考え、努力しています。また、人と人との温かな心のつながりを大切にし、最上町の発展を応援していく「こども宣言」を誓い、取り組んでいきます。

特別支援教育支援事業

特別支援を必要とする児童生徒の校内生活や学習面のサポートを目的に、支援員を配置します。

適応指導員配置

児童生徒のスムーズな学校復帰のための学習面、生活面を支援します。

大学連携による授業改善推進研究事業

大学と連携し、各小中学校校内研究の特性に応じた授業改善を推進します。

特色ある学校づくり支援事業（新規）

社会変化に対応できる力を持った子どもを育成し、総合学習を推進するための研究支援を行います。

学力向上支援教育事業

児童・生徒の学力向上及び教員の指導力向上に向けて教育講演会及び調査研究を行います。

学校支援地域本部事業

コーディネーターを配置し、地域のボランティアが学習支援、環境整備に関わることで、地域全体の教育力を高めます。

学校給食調理業務・運搬業務委託（新規）

地産地消を推進し、民間委託により地域を担う人材の育成を展開します。

食育推進事業

町内の子どもたちが正しい食の知識と習慣を身に付けられるよう食育を推進します。



2. あらゆる世代を通じた生涯学習の充実

1,402万円

町制施行60周年記念事業（新規）

町制施行60周年を祝い、記念式典など下記事業を実施します。

○特別事業

町制施行60周年記念式典、自然環境現況調査報告書の発行、青少年海外研修制度創設

○冠を付して行う事業

町民運動会、町内野球大会、健康福祉まつり、大産業まつり、消防大演習、消防操法大会、こども議会

60周年記念町民フォーラム

公民館単位や町全体の地域づくりについての成果発表やNPO、各種団体の事例紹介を行い、今後の地域づくりのあり方を話し合います。

外国語指導助手配置事業

国際社会に対応できる児童生徒等の育成・指導のため、外国語指導助手（ALT）を配置して英語教育を行います。

スキー強化事業

平成28年度に最上町（アルペン）と真室川町（クロスカントリー）で開催される、「全国中学校スキー大会」に向けて選手強化を行います。

家庭教育学級開設

保育所や学校などを会場に、保護者を対象にして家庭教育の充実に向けた研修会を実施します。

読書活動推進事業

平成26～平成30年の5か年の最上町読書活動推進計画に従い、子どもの豊かな心と知的好奇心を高めています。

いきがい講座開設

成人層、高齢者のための趣味、教養講座、講演会を実施し、生涯学習の場を提供します。

3. 誇りを持つ伝統文化の継承と文化財の保護

1,938万円

自然環境現況調査報告書作成委託事業（新規）

平成22～平成24年の3か年の調査報告書の作成を行います。

封人の家管理運営事業

国の重要文化財であり観光資源でもある封人の家を管理運営します。

封人の家屋根修繕事業

国の重要文化財であり観光資源でもある封人の家の屋根を修繕します。

ふれあい文化創造事業

最上中プラスバンドへの音楽指導と最上校木と音の会への指導を行います。

文化伝承活動支援事業補助金

多様な文化にふれあう機会を増やし、文化を伝承していく活動を支援します。



重点施策6

地域資源の活用と環境とエネルギーの持続的・発展的社会の構築 1億3,788万円

1. スマートコミュニティ構想の具体的行動

6,471万円

エネルギー利用効率化推進事業補助

最上町内における再生可能エネルギー利用効率化設備の導入を促進するため、家庭や事業所に対し経費の助成を行います。

エネルギー町民研修事業

スマートコミュニティ構想の実現に向け、フォーラム等を開催し、町民全体で取り組みます。

2. 再生可能エネルギーと地域資源の利用で産業と雇用の創出 7,316万円

木質バイオマスエネルギー事業

森林資源の有効利用とウエルネスツーンのエネルギー供給体制を確立します。

公的施設再生可能エネルギー整備事業

地域の防災拠点として公共施設に再生可能エネルギー設備を導入し、災害に強い最上町を目指します。

防犯灯LED化推進事業（新規）

集落と集落の間の防犯灯をLED化するための経費の助成を行います。





重点施策7

健全なる行財政運営の維持に向けた取り組みの強化

1. 税収等の収納率向上に向けた対策強化及び行政評価システムの確立・運用

- きめ細かな納税相談、納税指導の展開
- 施設マネジメント計画の策定
- 第6次行財政改革プランの策定
- 事務事業の評価体制の確立・運用
- 総合計画・前期基本計画の検証

町制施行 60周年記念

平成26年度は最上町が誕生し、60年の記念すべき節目の年。これを私たち人間に例えるならば「還暦」のお祝いの年であり、新たなスタートを切る年でもあります。

この意義深い年を迎えるにふさわしく、これまで積み上げてきた60年間のまちづくりを土台としながら、町民の皆さんと等しく「元気なまち」そして「幸福人生」が実感できるよう、積極果敢なまちづくりを進めます。

町制施行60周年記念事業についてのお問い合わせは、最上町役場総務課まで ☎0233-43-2111

●主な事業と日程●

- 〈特別事業〉
- ・記念式典、特別表彰式、定例表彰式 11月3日
 - ・元気なまちづくり町民フォーラム 11月23日
 - ・自然環境現況調査報告書の発行 11月上旬
 - ・青少年海外研修事業 8月上旬
 - ・第60回町民運動会 9月23日
 - ・第60回町内野球大会 8月14～15日
 - ・第37回健康福祉まつり 11月9日
 - ・大産業まつり
秋：11月3日 冬：2月15日
 - ・こども議会 11月21日
 - ・最上町消防団大演習 5月3日
 - ・最上町消防操法大会 7月6日

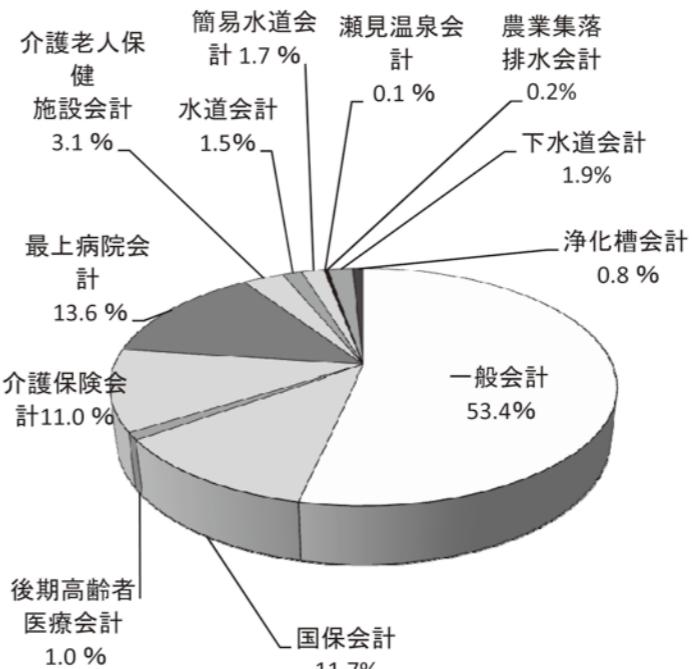
1 一般会計と特別会計の規模

平成26年度の一般会計と特別会計の予算は、一般会計が57億6,500万円、11ある特別会計の合計が、50億2,237万円で、町の総予算は合計107億8,737万円になります。

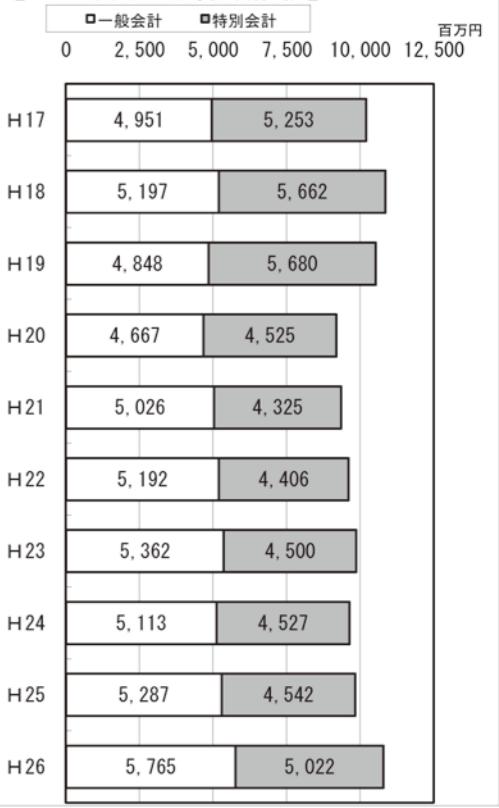
主な特別会計は、最上病院会計が14億6,846万円、国民健康保険会計が12億6,500万円、簡易水道会計が1億7,984万円などとなっています。

前年度の一般会計と特別会計の総額と比較すると、9億5,793万円の増額で、増減率では9.7%の増加率となっています。

【平成26年度一般会計・特別会計予算構成比】



【10年間の予算額推移】



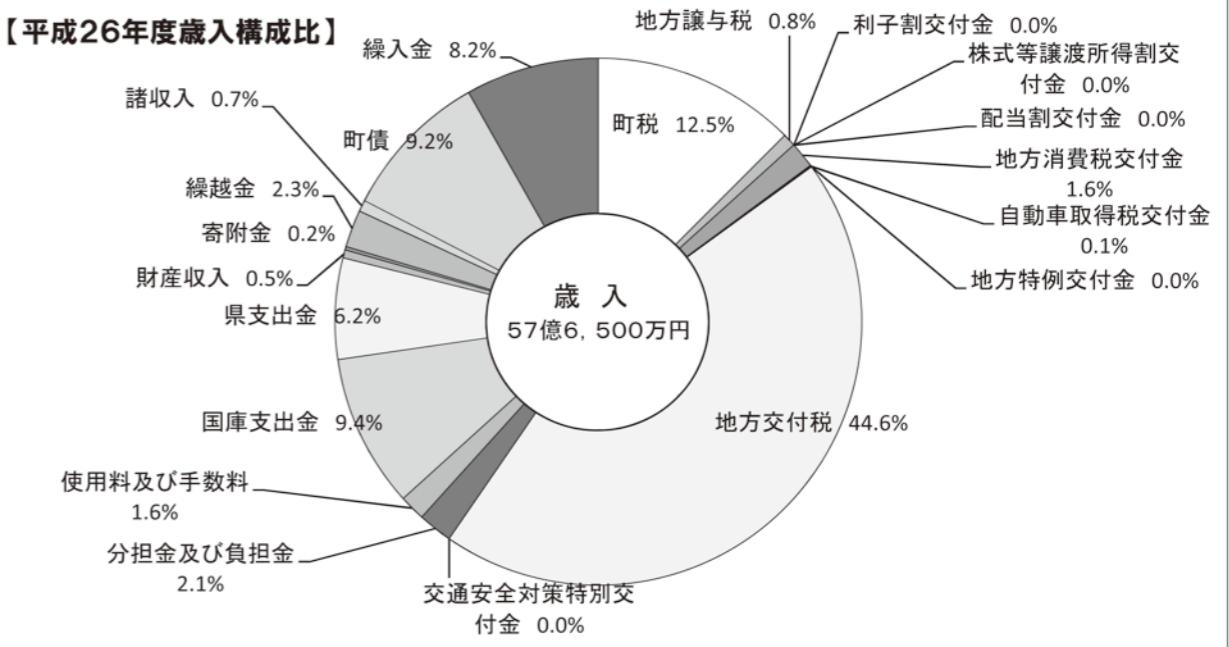
会計別	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率	構成比
一般会計	5,765,000	5,287,000	478,000	9.0	53.4
特別会計	5,022,373	4,542,444	479,929	10.6	46.6
国民健康保険事業	1,265,000	1,220,000	45,000	3.7	11.7
後期高齢者医療事業	106,000	100,000	6,000	6.0	1.0
介護保険事業	1,193,000	1,050,000	143,000	13.6	11.0
最上病院事業	1,468,457	1,184,980	283,477	23.9	13.6
介護老人保健施設事業	332,567	324,479	8,088	2.5	3.1
水道事業	158,123	151,963	6,160	4.1	1.5
簡易水道事業	179,841	209,492	▲ 29,651	▲ 14.2	1.7
瀬見温泉管理事業	8,331	8,348	▲ 17	▲ 0.2	0.1
農業集落排水事業	18,412	17,753	659	3.7	0.2
下水道事業	204,607	185,289	19,318	10.4	1.9
浄化槽事業	88,035	90,140	▲ 2,105	▲ 2.3	0.8
総計	10,787,373	9,829,444	957,929	9.7	100.0

2. 一般会計の歳入と歳出の内訳

歳 入

区分	平成26年度	平成25年度	比較		構成比
			増減額	増減率	
1 町税	723,449	703,049	20,400	2.9	12.5
2 地方譲与税	44,000	44,000	0	0.0	0.8
3 利子割交付金	1,400	1,500	▲ 100	▲ 6.7	0.0
4 配当割交付金	500	500	0	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	200	200	0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	95,000	80,000	15,000	18.8	1.6
7 自動車取得税交付金	6,000	9,000	▲ 3,000	▲ 33.3	0.1
8 地方特例交付金	400	1,000	▲ 600	▲ 60.0	0.0
9 地方交付税	2,570,000	2,580,000	▲ 10,000	▲ 0.4	44.6
10 交通安全対策特別交付金	900	900	0	0.0	0.0
11 分担金及び負担金	121,146	123,821	▲ 2,675	▲ 2.2	2.1
12 使用料及び手数料	90,136	62,549	27,587	44.1	1.6
13 国庫支出金	541,457	331,824	209,633	63.2	9.4
14 県支出金	357,247	350,569	6,678	1.9	6.2
15 財産収入	26,640	90,202	▲ 63,562	▲ 70.5	0.5
16 寄附金	10,100	400	9,700	2,425.0	0.2
17 繰越金	130,000	100,000	30,000	30.0	2.3
18 諸収入	43,125	62,686	▲ 19,561	▲ 31.2	0.7
19 町債	532,100	499,800	32,300	6.5	9.2
20 繰入金	471,200	245,000	226,200	92.3	8.2
歳入合計	5,765,000	5,287,000	478,000	9.0	100.0

下の円グラフは、平成26年度歳入予算の科目構成比を表しています。全体に占める地方交付税の割合は44.6%（25億7,000万円）、町税が12.5%（7億2,345万円）、国庫支出金9.4%（5億4,146万円）、町債が9.2%（5億3,210万円）、繰入金8.2%（4億7,120万円）となっています。



歳 出

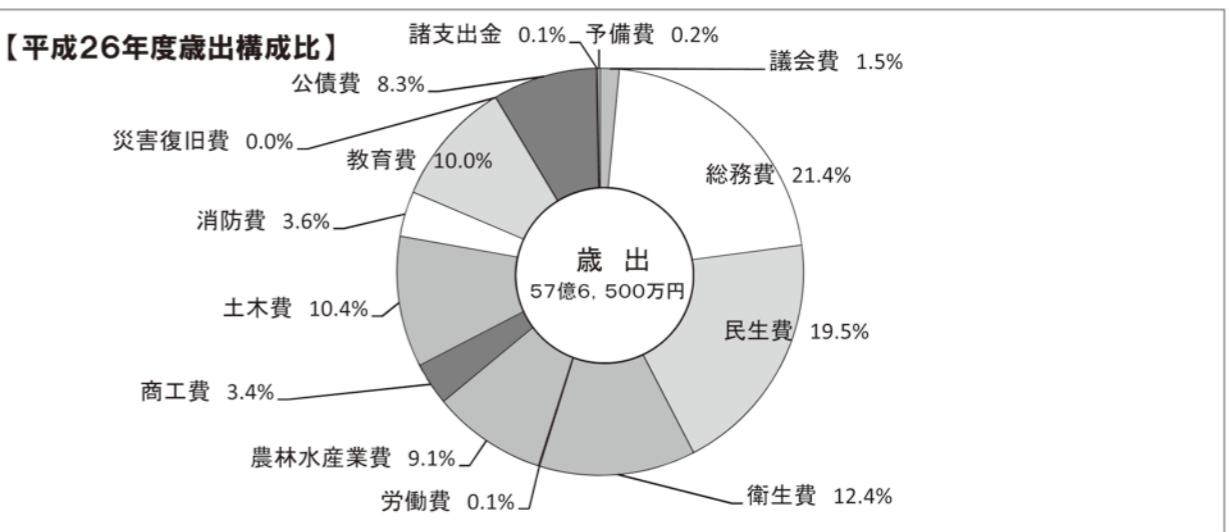
区分	平成26年度	平成25年度	比較		構成比
			増減額	増減率	
1 議会費	85,579	84,456	1,123	1.3	1.5
2 総務費	1,230,966	983,846	247,120	25.1	21.4
3 民生費	1,122,162	1,027,826	94,336	9.2	19.5
4 衛生費	716,709	694,884	21,825	3.1	12.4
5 労働費	4,828	4,843	▲ 15	▲ 0.3	0.1
6 農林水産業費	525,488	376,561	148,927	39.5	9.1
7 商工費	198,761	170,757	28,004	16.4	3.4
8 土木費	601,084	623,592	▲ 22,508	▲ 3.6	10.4
9 消防費	209,505	210,622	▲ 1,117	▲ 0.5	3.6
10 教育費	578,479	547,109	31,370	5.7	10.0
11 災害復旧費	274	321	▲ 47	▲ 14.6	0.0
12 公債費	476,847	548,583	▲ 71,736	▲ 13.1	8.3
13 諸支出金	4,318	3,600	718	19.9	0.1
14 予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.2
歳出合計	5,765,000	5,287,000	478,000	9.0	100.0

○主な用語の説明

地方交付税…国から地方に交付されるお金で、普通地方交付税と特別地方交付税があります。

町債……………町の借金のことです。町債を起こすことを「起債」といいます。

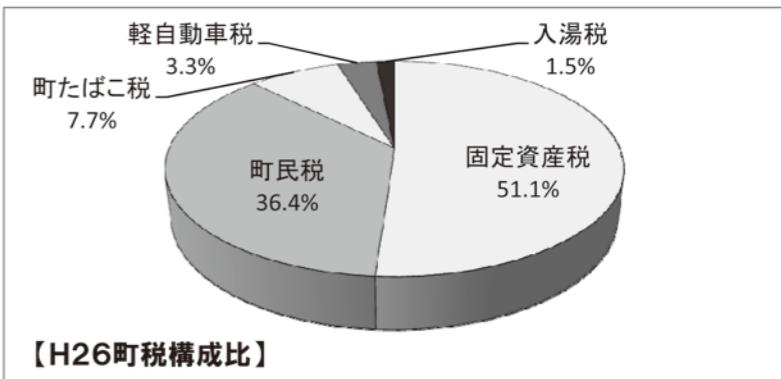
こちらの円グラフは、平成26年度歳出予算の科目構成比を表したものです。構成割合を見ると、総務費21.4%（12億3,097万円）、民生費が19.5%（11億2,216万円）、衛生費12.4%（7億1,671万円）、土木費10.4%（6億108万円）、教育費10.0%（5億7,848万円）の順となっています。



3 町税の内訳

区分	平成26年度	平成25年度	比較		構成比
			増減額	増減率	
1 町民税	263,501	240,501	23,000	9.6	36.4
2 固定資産税	368,746	368,746	0	0.0	51.1
3 軽自動車税	24,201	23,801	400	1.7	3.3
4 町たばこ税	56,000	57,000	▲ 1,000	▲ 1.8	7.7
5 入湯税	11,001	13,001	▲ 2,000	▲ 15.4	1.5
合 計	723,449	703,049	20,400	2.9	100.0
国民健康保険税	309,130	280,210	28,920	10.3	-

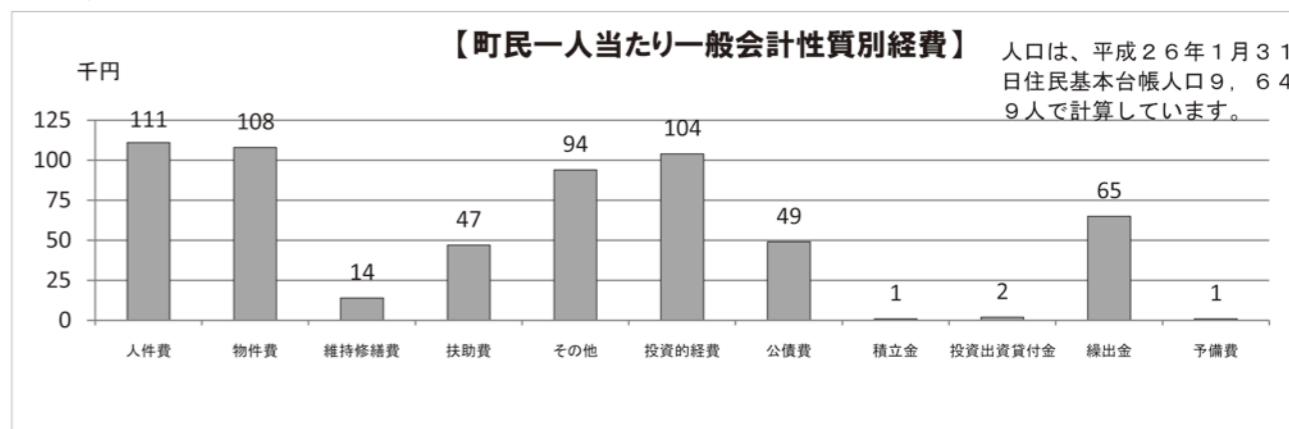
町税の内訳をみると、固定資産税が3億6,875万円で、税収全体の51.1%を占めています。次いで町民税が2億6,350万円で36.4%、町たばこ税が5,600万円で7.7%、軽自動車税が2,420万円で3.3%、入湯税が1,100万円で、1.5%の順となっています。



4 性質別にみた歳出の内訳

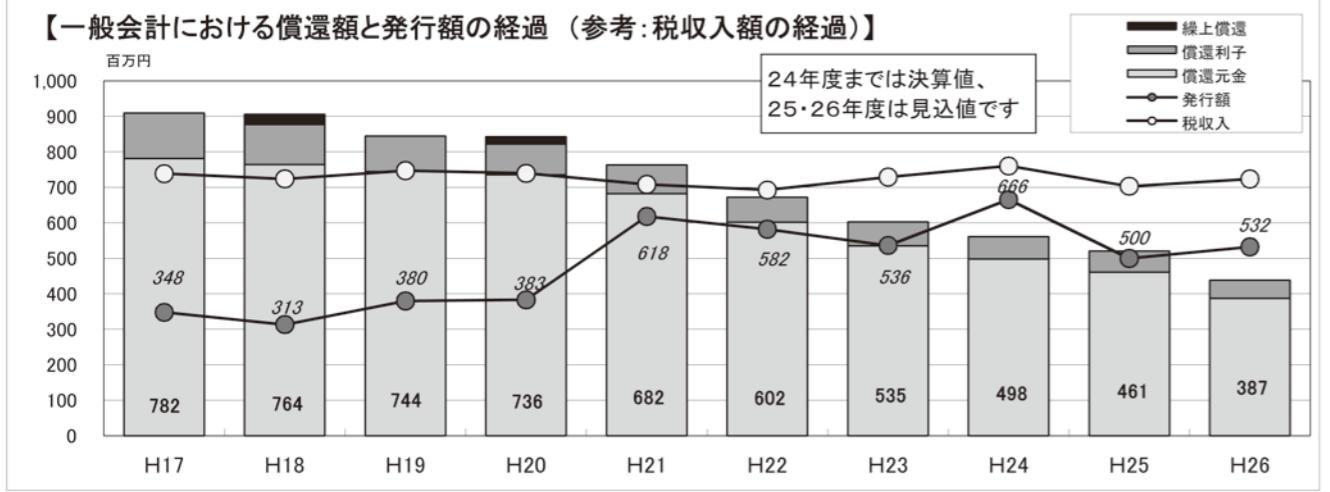
区分	平成26年度	平成25年度	比較		構成比
			増減額	増減率	
1 義務的経費	3,615,395	3,415,265	200,130	5.9	62.7
(1) 人件費	1,069,390	1,107,514	▲ 38,124	▲ 3.4	18.6
(2) 物件費	1,044,860	902,939	141,921	15.7	18.1
(3) 維持修繕費	137,655	100,416	37,239	37.1	2.4
(4) その他	1,363,490	1,304,396	59,094	4.5	23.6
2 投資的経費	1,006,972	745,874	261,098	35.0	17.4
(1) 普通建設事業費	1,006,748	745,603	261,145	35.0	17.4
(2) 災害復旧事業費	224	271	▲ 47	▲ 17.3	0.0
3 公債費	476,847	548,583	▲ 71,736	▲ 13.1	8.3
4 積立金	12,184	2,484	9,700	390.5	0.2
5 投資及び出資金・貸付金	17,400	18,600	▲ 1,200	▲ 6.5	0.3
6 繰出金	626,202	546,194	80,008	14.6	10.9
7 予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.2
歳出合計	5,765,000	5,287,000	478,000	39.2	100.0

平成26年度予算を性質別にみてみると、人件費は10億6,939万円となり全体の18.6%を占めています。物件費は10億4,486万円で18.1%、投資的経費が10億6,97万円で17.4%、繰出金が6億2,620万円で10.9%、公債費が4億7,685万円で8.3%などとなっています。これらの金額を町民一人当たりで計算すると、人件費が11万1千円、投資的経費が10万4千円、物件費が10万8千円、公債費が4万9千円、繰出金が6万5千円などとなっています。

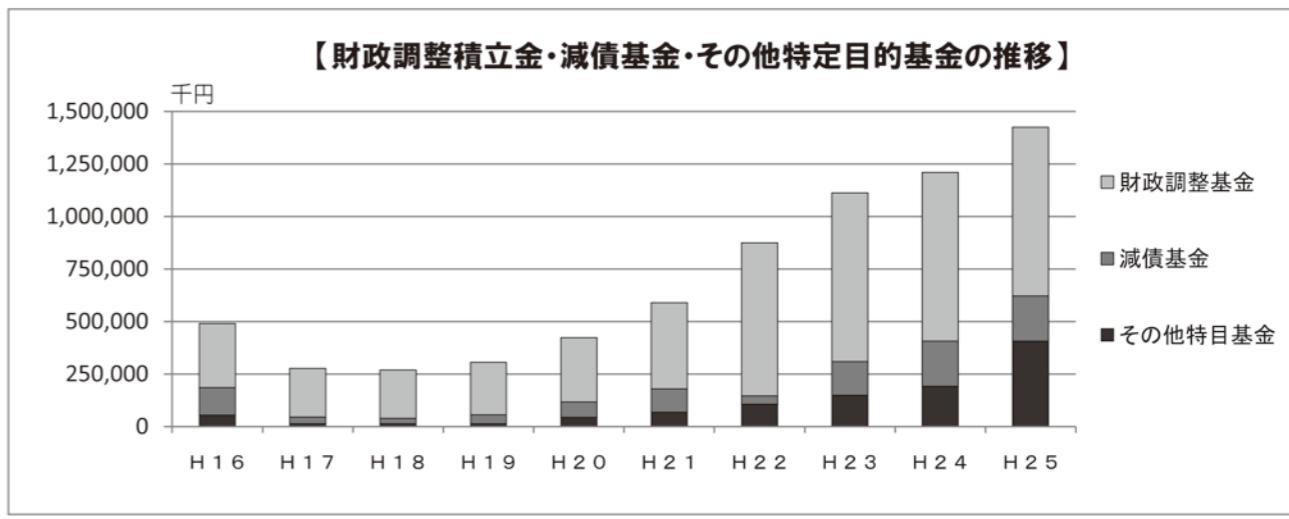


5 町の借入れと積立

下のグラフは、一般会計の地方債（借金）の償還額や各年度の新規借入れ額（発行額）の推移を表したもので、償還額は平成17年度をピークに減少しています。平成26年度の償還予定額は4億3,800万円となっています。借入れについては、償還額のおよそ70%程度が地方交付税に算入される過疎債を活用するなど、町の環境整備に向けてより有利な手法をとっています。



下のグラフは、財政調整積立金・減債基金・その他特定目的基金の推移です。平成18年度には2億7,000万円まで減少した基金合計額が、平成25年度末見込みで14億2,717万円まで増加してきています。



第3章 各種名簿

1. 最上町議会議員・主な町の役職員名簿

職名	氏名	所属委員会など	
議長	菅 俊郎	総務文教常任委員会	最上広域市町村圏事務組合議会議員
副議長	佐 澤 浩	産業厚生常任委員会	議会運営委員会 議会広報編集委員会
議員	伊 藤 一 雄	総務文教常任委員会	議会運営委員会
議員	菅 庄 悅	産業厚生常任委員会	
議員	菅 博	総務文教常任委員会	
議員	佐 藤 義 男	産業厚生常任委員会	最上町監査委員
議員	石 原 英 一	◎産業厚生常任委員会	議会運営委員会
議員	橋 本 正	◎総務文教常任委員会	最上広域市町村圏事務組合議会議員
		○議会運営委員会	議会広報編集委員会
議員	渡 邁 英 俊	産業厚生常任委員会	議会広報編集委員会 ◎議会運営委員会
議員	大 沼 正 視	総務文教常任委員会	議会広報編集委員会
議員	二 戸 守	○総務文教常任委員会	◎議会広報編集委員会
議員	小 林 守	○産業厚生常任委員会	○議会広報編集委員会

注) ◎は委員長、○は副委員長

《農業委員》

職名	氏名	選任別	職名	氏名	選任別	職名	氏名	選任別
委 員	会 長	後 藤 一 男	選 挙	委 員	二 戸 新 助	選 挙	委 員	庄 司 千 賀 夫
	職務代理	二 戸 正	選 挙		高 橋 光 廣	選 挙		農 協
		渡 邁 紀 宗	選 挙		二 戸 孝 一	選 挙		菅 甚 助
		大 場 隆	選 挙		今 田 源 光	選 挙		土 地 改 良 区
		渡 部 義 信	共 濟 組 合		渡 部 浩 栄	議 会		小 林 吉 雄
								笠 原 一 郎

《振興審議会委員》

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
委 員	後 藤 一 男	委 員	佐 藤 隆	委 員	橋 本 広 幸
	下 山 洋 子		佐 藤 博 子		奥 山 裕 子
	下 山 茂		齊 藤 菊 雄		後 藤 修 二
	岸 一 志		田 中 育 子		山 田 博 正
	柴 崎 祐 廣		奥 山 茂 智		笹 勝

《監査委員》

氏名	備考
飛 鳥 伸 一	代表監査委員
佐 藤 義 男	議会選出監査委員

《最上広域市町村圏事務組合議会議員》

組合議会職名	氏名
議 員	菅 俊 郎
議 員	橋 本 正

《人権擁護委員》

高 橋 憲 邦	菅 清 一 郎
佐 藤 静 子	石 山 不 仁 男
二 戸 信 子	

《固定資産評価審査委員》

菅 利 勝
藤 畑 敬 美
木 田 隆 春

《選挙管理委員会委員》

役職名	氏名
委員長	青 木 公
委 員	木 田 恵 子
委 員	星 川 薫
委 員	大 沼 光 明

《同補充員》

下 山 武 良
阿 部 善 助
山 田 桐 雄
山 口 恵 一

《民生児童委員》

担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名
堺田・松根	有路 陽子	本 城	二戸 正美	満沢 2 区	岸 一志	志茂・清水町	高山マサ子
笹 森	佐藤かよ子	十 日 町	沓澤 周悦	豊田・沢原	佐藤 環	白 川 端	山田富士夫
赤倉2.3区	阿部 啓子	向町1.7区	二戸 拓	月橋1.2区	八鍬 雅俊	大 堀	二戸 正子
赤倉1.3区	大場 冬子	向町2.3区	加藤 晴子	萱 場	阿部 静子	横 川	高橋 賴寧
一 別	高田タマ子	向町3.4区	吉田ノブ子	東 法 田	菅 正利	上 鶴 杉	高橋 繁子
明神・万騎の原	山口 正宏	向町5.8区	佐藤二三江	若 宮	中島 則子	鶴 杉	柴田 文男
新田1区	森 生子	向町 6 区	海和 和子	下 白 川	中島 一正	瀬見 2 区	東海林 豊
新田2区	野口 信子	黒 沢	藤原久美雄	野 頭	菊川 昌彦	瀬見 1 区	奥山 厚子
下 小 路	大場 恭司	前 森	海和 義雄	法 田 中	中鉢まき子	主任児童委員	下山 一枝
立 小 路	笠原 勝義	満沢 1 区	大場 啓一	法 田 下	菅 ツヤ子	主任児童委員	佐藤 静子

《身体障害者相談員》

二階堂 満

《知的障害者相談員》

笠 原 キミ子

《環境保全員》

担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名
堺田・松根・笹森	柴崎金之助	赤 沢・末 沢	黒坂 孝	野 頭	青柳 勝良
赤 倉・一 別	星川 末作	前 森 開 拓	森谷金次郎	法田中・法田下	伊藤喜久光
新田・明神・万騎の原	井上 敏次	満 沢	佐藤 治郎	白川端・清水町	山口 英次
立小路・下小路	小林 三芳	月 楠・萱 場	竹沢 広行	大 堀	堀 勝義
十日町・本 城	大場 好昭	東法田	菅 強	横 川・志 茂	伊藤 哲
向 町・豊 田	小林 昇	若 宮・沢 原	伊藤 栄治	上 鶴 杉・鶴 杉	大場 誠一
黒 沢	藤原久美雄	下白川	小林徳治郎	瀬 見	板垣 善悦

《教育委員》

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
委員長	門間 今朝徳	委員長職務代理	大石 紳一郎	委 員	下 山 洋 子
委 員	明 石 二三江	教 育 長	笠 原 荘		

《教育相談員》

笠 原 さよ子
細 矢 ヒ 口 工
尾 形 由 美 子

《適応教室相談員》

中 嶋 より子

《社会教育委員兼公民館運営審議会委員》

阿 部 敏 彦	橋 本 正	佐 藤 静 子	菅 孝	三 部 義 道
奥 山 孝 雄	八 鍬 啓 一	佐々木 美恵子	沓 澤 百合子	渡 辺 禮

《文化財保護審議会委員》

奥 山 東 順	北 村 昭 夫	伊 藤 和 美	森 康 夫	鈴 木 利 彦

《青少年育成推進委員》

橋 本 正	菅 秀 一	菊 川 昌 典	渡 部 勝 義	八 鍬 啓 一
佐 藤 昭 一	早 坂 貢	遊 佐 忠 孝	石 山 和 也	明 石 二三江

《スポーツ推進委員》

齊 藤 友 理	高 橋 美 一	佐 藤 正 市	菊 池 日 出 男	下 山 純 子
赤 松 正 明	小 野 真 司	佐 藤 義 行	奥 山 光 博	曾 根 田 円
菅 雄 輔				

《地区公民館長》

富 沢 地 区 公 民 館		向 町 地 区 公 民 館		大 堀 地 区 公 民 館	
館 長	高 橋 久	館 長	菊 池 和 子	館 長	菅 清一郎

第4章 統計資料

《区長・公民館長・衛生連絡員・集落担当連絡員名簿》

行政区 番号	行政区名	区 長	分館名	公民館長	衛生連絡員	No	集落担当連絡員(協働隊連絡)			
							班 長	班 員		
1	堺 田	遊 佐 幸 一	堺 田	有 路 幸 次	有 路 聖 子	1	伊 藤 勝	矢 島 悅 子	☆須 藤 勇	
2	松 根	藤 井 忠	松 根	高 橋 英 和	藤 井 けさよ	2	今 井 正 明	遠 藤 真 一	○押 切 謙 二	
3	笹 森	青 木 文 二 門	笹 森	高 橋 利 春	石 山 千 春	3	山 上 裕 子	◇鈴 木 天 民	☆須 藤 勇	
4	赤 倉 1	野 口 勝 弥	赤 倉	高 橋 久	大 場 美 紀 子	4	高 橋 国 広	野 口 勝 世	大 場 正 男	
5	赤 倉 2	笹 勝			押 切 真 理 子					
6	赤 倉 3	高 橋 久			田 中 育 子					
7	一 刃	高 田 勝 一	一 刃	安 達 高 明	安 達 あさ子	5	石 山 竹 美	☆須 藤 勇	◇鈴 木 天 民	
8	万 騎 の 原	永 塚 勝 明	万 騒 の 原	菅 ユキ子	笠 原 隆 江	6	菅 正 人	☆須 藤 勇	◇鈴 木 天 民	
9	明 神	野 口 清 彦	明 神	大 場 豊 成	野 口 由 美 子	7	堀 敦 夫	大 場 鴻 代	☆須 藤 勇	
10	新 田 1	石 山 不 仁 男	新 田	石 山 馨	齋 藤 栄 子	8	吉 田 昌 弘	川 田 愛 美	岸 奈 美	
11	新 田 2	岸 善 六			吉 田 タケコ					
12	下 小 路	奥 山 四 郎	下 小 路	大 場 誠 治	高 橋 たけよ	9	金 田 敏 幸	高 橋 亘	☆須 藤 勇	
13	立 小 路	小 野 良 一	立 小 路	石 山 重 雄	笠 原 満 里 子	10	高 橋 喜 代 美	笠 原 信 吾	佐 藤 千 秋	
14	本 城 2	荒 木 克 晋	本 城	小 林 賢 一	山 野 アキ子	11	荒 木 広 康	二 戸 広 行	結 城 健	
15	本 城 1	細 矢 昭 男			結 城 みつ子					
16	十 日 町	工 藤 勝 秀	十 日 町	原 田 肇	齋 藤 淳 子	12	沓 澤 周 美 子	伊 勢 隼 人	齋 藤 淳 子	
17	向 町 1	高 橋 憲 悅	向 町	高 橋 憲 邦	清 藤 啓 子	13	須 貝 満	田 中 清 治	菊 池 仁	
18	向 町 2	菊 池 義 明			吉 田 美 紀 子	14	北 條 清 悅	◇岸 優 太	◇宮 本 浩	
19	向 町 3	真 柄 利 秋			中 嶋 紀 念 子	15	伊 藤 和 久	菅 淳	真 柄 文 子	
20	向 町 4	五十 嵐 忍			小 林 昊	16	吉 田 徹	石 山 和 喜 子	鎌 田 祥 子	
21	向 町 5	橋 本 征 男			五十 嵐 光 子	17	矢 口 正 樹	岸 英 里 香	結 城 智 博	
22	向 町 6	柴 崎 憲 一			二 階 堂 靖 子	18	加 藤 伸 司	阿 部 正 春	後 藤 精 一	
23	向 町 7	石 山 利 隆			鈴 木 智 子	19	今 田 裕 史	野 口 あゆみ	◇岸 優 太	
50	向 町 8	山 口 宏			柴 崎 貴 壮	20	黒 坂 啓 蔵	大 場 賢 一	後 藤 光 一	
向 町 町 内 会							21	野 口 忠 幸	菊 池 良 兼	柴 崎 貴 寿
24	黒 沢	遊 佐 廣 一	黒 沢	青 木 正 義	今 井 トキ子	22	大 場 晃	田 中 宏 明	阿 部 千 句 美	
25	前 森 3	栗 林 幸 一	前 森	大 場 春 雄	大 場 美 佐 子	23	板 垣 由 紀 子	海 和 美 春	浅 黄 紗 知 子	
26	前 森 2	後 藤 英 昭	赤 沢	有 路 鉄 夫	太 田 栄 子	24	有 路 孝 志	◇宮 本 浩	△菅 あ か り	
27	前 森 1	松 井 政 義	源 佐 原	後 藤 栄 二	宮 島 良 子	25	渋 井 和 之	大 沼 祐 介	◇岸 優 太	
28	満 沢 2	菅 文 利	上 満 沢	柴 田 栄 吉	岸 邦 好	26	阿 達 大 和	奈 良 寿 仁	◇宮 本 浩	
29	満 沢 1	浅 井 真	中 満 沢	菅 勝 義	菅 秋 子	27	岸 恵 美	岸 輝 彦	☆岸 優 太	
			下 満 沢	福 井 信 彦						
			細 の 原	結 城 修 悅						
30	萱 場	大 沼 春 忠	萱 場	竹 澤 広 行	片 倉 千 代	28	阿 部 信 幸	渡 邊 成 美	阿 部 亘	
31	月 楠 1	海 藤 武 敏	月 楠	八 鍬 雅 俊	有 路 亜代永	29	金 田 信 吾	大 沼 翔 平	大 沼 祐 介	
32	月 楠 2	大 沼 光 明			大 山 喜 久 子					
33	豊 田	菅 春 一	豊 田	福 井 利 春	福 井 利 春	30	高 橋 明 彦	福 井 信 介	高 橋 真 由 美	
34	沢 原	柴 崎 昌 幸	沢 原	保 科 誠 一	柴 崎 昭 美	31	高 橋 一 起	遠 藤 智 也	五十 嵐 浩 一	
35-1	東 法 田 1	菅 達 雄	東 法 田	柴 崎 幸 正	菅 光 子	32	菅 島 常 也	菅 真 由 美	菅 倫 子	
35-2	東 法 田 2	伊 藤 康 治			菅 千 代 子					
36	若 宮	中 鳶 宥	若 宮	下 山 繁 雄	中 島 きみ子	33	中 島 寿 幸	中 島 謙	渋 井 和 之	
					伊 藤 恵 子					
37	下 白 川	齊 藤 菊 雄	下 白 川	井 上 栄 一	引 地 宮 子	34	井 上 志 乃	井 上 智 美	☆尾 形 勝 雄	
38	野 頭	結 城 松 雄	野 頭	菅 茂	後 藤 陽 子	35	後 藤 卓 哉	菅 真 奈 美	☆尾 形 勝 雄	
39	法 田 中	佐 藤 正 市	法 田 中	杏 沢 一 幸	阿 部 良 子	36	佐 藤 德 法	阿 部 多 美 子	阿 部 愛 彩	
40	法 田 下	阿 部 保 二	法 田 下	齊 藤 辰 夫	菅 都 志 子	37	阿 部 剛	菅 智 子	阿 部 繁 寿	
41	志 茂	渡 部 時 夫	志 茂	寺 崎 靖 利	荒 木 さ よ 子	38	寺 崎 靖 利	菅 キ 工 子	寺 崎 昭 子	
42	清 水 町	二 戸 満	清 水 町	川 崎 好 春	奥 山 ふ み 子	39	奥 山 浩	奥 山 剛	◇玉 浦 翔 平	
43	白 川 端	後 藤 晴 義	白 川 端	菅 清 一 郎	浅 野 目 美 知 子	40	斎 藤 博 幸	林 真 寿 美	☆尾 形 勝 雄	
44	大 堀	二 戸 啓	大 堀	小 野 富 雄	堀 さく子	41	鈴 木 隆 雄	高 橋 憲 輔	赤 川 一 彦	
45	横 川	高 橋 佐 善	横 川	伊 藤 幸 一	菅 か な 子	42	高 橋 浩 康	五十 嵐 浩 一	伊 藤 瞳	
46	上 鶴 杉	大 場 喜 一	上 鶴 杉	早 坂 康 男	大 場 明 美	43	菅 秀 孝	☆尾 形 勝 雄	○阿 部 竜 也	
47	鶴 杉	森 下 強	鶴 杉	齊 藤 義 人	伊 藤 ヨ ソ 子	44	渡 遠 尚 見	菅 智 行	◇玉 浦 翔 平	
48	瀬 見 2	板 垣 善 悅	瀬 見	齊 藤 貴 義	森 八 千 代	45	伊 藤 茂	奥 山 明 洋	板 垣 新 一	
49	瀬 見 1	八 鍬 啓 一			片 岡 裕 美					

1. 人口

(1) 人口と世帯数の推移

区分	町の人口(人)			世帯数 (世帯)
	総数	男	女	
平成2年(1990年)	12,541	6,067	6,474	2,946
平成7年(1995年)	12,174	5,907	6,267	2,913
平成12年(2000年)	11,483	5,556	5,927	2,865
平成17年(2005年)	10,761	5,170	5,591	2,822
平成22年(2010年)	9,847	4,756	5,091	2,764

(資料：國勢調查)

(2) 外国人数

2013.12月末現在(人)

	総 数	韓国・朝鮮	中 国	フィリピン	アメリカ	ブラジル	オーストラリア
男	3	2	0	—	—	—	1
女	62	31	27	2	—	2	—
計	65	33	27	2	—	2	1

(町民税務課調べ)

2. 農業關係統計

(1) 総農家戸数

(单位: 台)

区分	平成22年	摘要
販売農家数	891	
自給的農家数	147	
総農家数	1,038	

(資料: 2010 農林業ヤンサン)

(2) 経営耕地面積規模別経営体数

单位：经常体·ha)

計	0.3ha未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0~10.0	10.0~20.0	20以上
900	1	53	142	156	126	207	153	47	7	1

(資料: 2010農林業センサス)

(3) 販売目的で作付(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積 (単位: a)

作付 (栽培) 面積	類別作付(栽培)面積								
	稻	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸農作物	野菜類	花卉類 ・花木	その他 の作物
158,467	120,367	—	17,187	102	1,178	422	7,111	1,183	—

(資料: 2010農林業センサス)

(4) 家畜を販売目的で飼育している経営体数と飼養頭数

乳用牛		肉用牛					豚		
飼養經營 体 数	飼養頭數 体 数	飼養經營 体 数	飼養頭數	肥育中の牛		売る予定の牛		飼養經營 体 数	飼養頭數
				飼養經營体数	飼養頭数	飼養經營体数	飼養頭数		
9	135	51	3,857	13	3,184	38	445	—	—

(資料: 2010農林業センサス)

(5) 販売農家年齢別の農業就業人口(自営農業を主として従事した世帯員数) (単位: 人)

計	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65歳以上
1,057	10	5	16	15	18	15	27	74	142	135	600

(資料: 2010農林業センサス)

3. 観光

(1) 観光地入込み状況(年度別)

(延べ人数: 人)

区分	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
赤倉温泉	96,500	92,800	81,700	78,500	87,346	79,206	77,672	62,557	57,623	60,222
瀬見温泉	131,800	117,000	108,300	94,165	91,539	98,659	94,329	79,202	72,189	80,961
大堀温泉	40,500	39,000	39,400	36,235	31,089	29,370	29,172	30,708	28,127	29,232
赤倉温泉スキー場	37,600	28,700	32,300	27,200	30,700	27,950	28,190	23,585	21,835	21,230
封人の家	9,100	8,900	9,100	7,900	7,003	6,546	6,592	5,911	4,623	5,248
最上三十三観音	4,500	4,600	3,700	3,700	3,189	28,399	2,541	1,807	1,666	1,526
前森高原	64,350	56,227	58,684	51,771	58,006	79,757	129,739	95,212	92,295	110,757
山岳登山	17,000	12,600	12,000	10,950	11,500	15,250	17,500	16,650	11,500	5,900
小国川釣り客	5,050	1,277	803	1,389	1,999	1,734	1,756	1,854	1,394	2,247
川の駅やな茶屋もがみ	15,000	194,900	188,500	276,200	317,840	461,500	433,000	394,000	377,000	385,200
ウエルネスプラザ	29,176	29,975	36,935	44,774	47,044	27,283	26,784	25,455	49,443	41,934
西公園・ふれあいの里	44,425	38,416	35,068	39,784	32,271	37,175	38,729	34,857	31,975	34,163
合計	495,001	624,395	606,490	672,568	730,230	892,829	886,004	771,798	749,670	778,595

(交流促進課調べ)

4. 教育

(1) 保育所・幼稚園の概要

(平成26年4月1日)

区分 施設名	定員	未満児		年少児		年中児		年長児		総数
		男	女	男	女	男	女	男	女	
あたごこども園	120	5	6	11	12	20	13	14	13	94
大堀保育所	120	4	4	12	8	14	7	9	5	63
富沢保育所	60	1	0	0	4	5	5	2	1	18
みつわ幼稚園	20	2	1	0	1	1	3	0	2	10
あかくら幼稚園	40	0	0	0	0	2	1	0	2	5
施設計	360	12	11	23	25	42	29	25	23	190

(幼児教育課調べ)

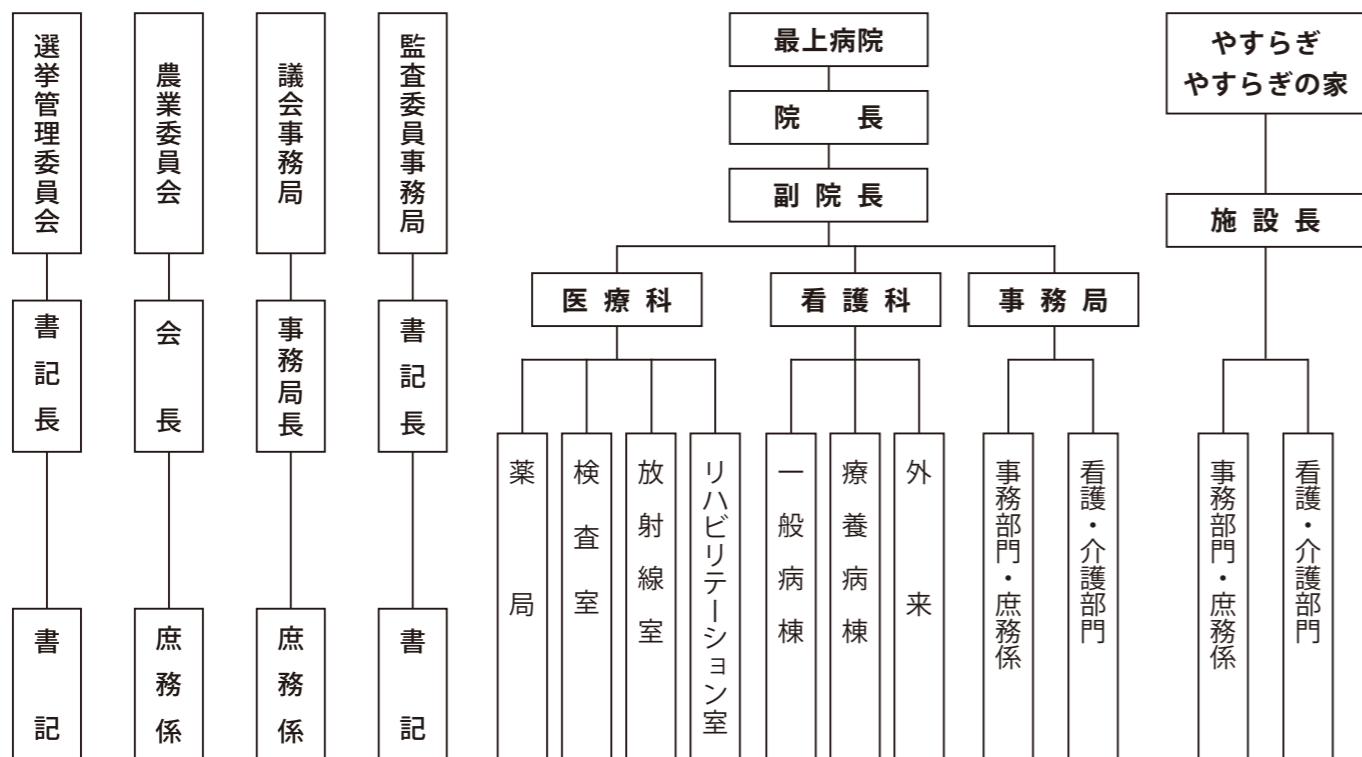
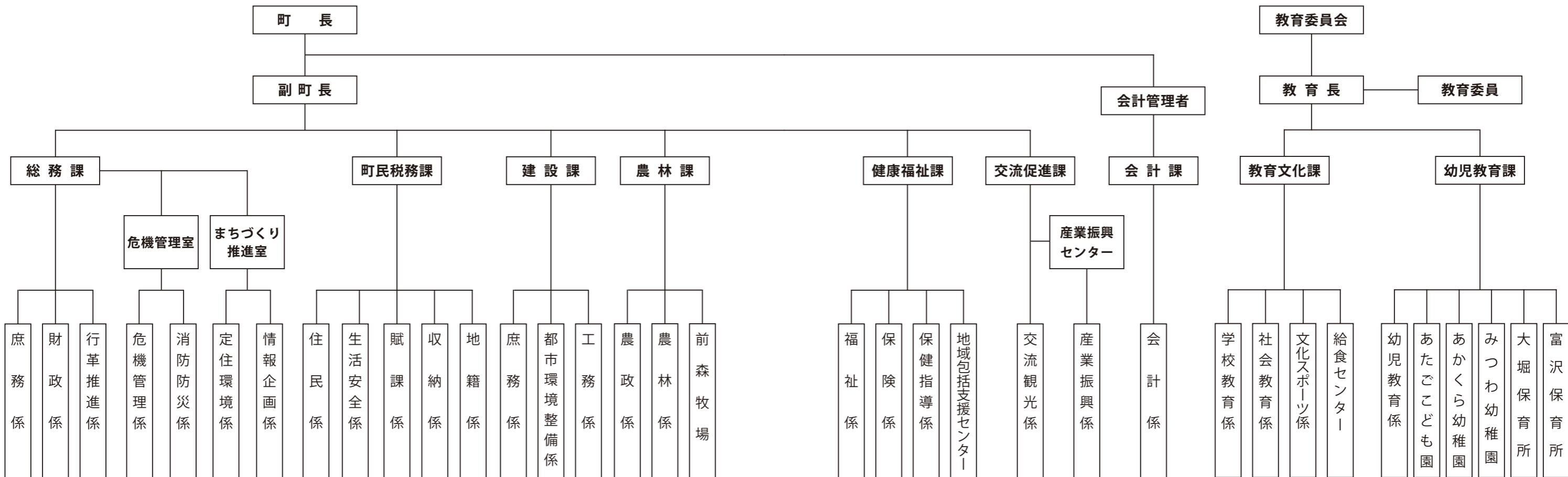
(2) 小中学校の概要

(平成26年4月1日)

区分 学校名	学級数		児童・生徒数(人)		
	普通	特支	男	女	総数
大堀小学校	6	2	85	63	148
月橋小学校	3	0	14	12	26
向町小学校	6	2	89	89	178
東法田小学校	3	0	9	10	19
富沢小学校	5	1	27	31	58
赤倉小学校	4	0	16	16	32
小学校計	27	5	240	221	461
最上中学校	9	2	117	115	232

(教育文化課調べ)

平成26年度 最上町行政組織図



役場の各係連絡先一覧

TEL 0233-43-2111（代表） FAX 0233-43-2345
総合案内メールアドレス：machizukuri@mogami.tv

総務課 Tel 43-2111
○庶務係・財政係・行革推進係 soumu@mogami.tv
○選挙管理委員会 senkan.mogami@mogami.tv
○危機管理室 危機管理係・消防防災係 kikikanri@mogami.tv
○まちづくり推進室 定住環境係 情報企画係 machizukuri@mogami.tv
町民税務課 Tel 43-2012 / 43-2014
○住民係・生活安全係 tyoumin@mogami.tv
○賦課係 zeimu@mogami.tv
○収納係 syunou@mogami.tv
○地籍係 tiseki@mogami.tv
建設課 Tel 43-2015 / 43-2934
○庶務係 kensetsu1@mogami.tv
○都市環境整備係・工務係 kensetsu2@mogami.tv
議会事務局 Tel 43-2362
○庶務係 gikai@mogami.tv
農林課 Tel 43-2016
○農林係 nourin@mogami.tv
○農政係 mogami-nousei@mogami.tv
農業委員会事務局 Tel 43-2017
○庶務係 nougyou@mogami.tv

交流促進課 TEL 43-2262
○交流観光係 koryu@mogami.tv
○産業振興センター sangyou@mogami.tv

教育文化課 TEL 43-2053 / 43-2013
○学校教育係 kyoiku@mogami.tv
○社会教育係 kouminkan@mogami.tv
○文化スポーツ係 sports@mogami.tv
○給食センター kyuusen@mogami.tv

幼児教育課 TEL 43-2247 FAX 43-4803
○幼児教育係 youjikyoiku@mogami.tv
○すこやかプラザひまわり図書室 himawari@mogami.tv

健康福祉課 TEL 43-3117 FAX 43-3115
○福祉係 kenkou2@mogami.tv
○保健指導係 shidou@mogami.tv
○保険係 hoken@mogami.tv
○地域包括支援センター kenkou@mogami.tv

会計課
○会計係 kaikei@mogami.tv

最上病院 TEL 43-2112 FAX 43-2391
○庶務係 hospital@mogami.tv

最上町役場の機構・施設と事務案内

平成26年4月1日 () は内線番号
TEL 43-2111 (代) FAX 43-2345

町長 高橋重美 (101)	副町長 田中実 (102)	教育長 笠原栄 (140)	
課長及び課長補佐等	主査、係長等	係員	事務内容
総務課長 兼危機管理監 伊藤勝 (250) (選挙管理委員会書記長)		庶務係長 野尻咲子 (256)	二戸香織 (251) 二戸頼朝 (253) 行政組織、条例、規則、規定、議案、職員人事、給与、職員福利・厚生、文書管理、陳情請願、選挙管理委員会事務局
課長補佐 高橋浩康 (258) 課長補佐 (環境省長期研修) 板垣誠弘		財政係長 沓澤聰 (259)	柴崎貴寿 (259) 渡邊成美 (254) 予算、町債、地方交付税、財政計画
危機管理室長 堀敦夫 (280)		行革推進係長 菅正人 (255)	阿達大和 (255) 八鍬春樹 (254) 渋井浩一 (254) 行財政改革プラン、公共施設マネジメント計画、町有財産管理運用、公用車管理運行、町営バス、入札、契約、検査、町有大堀源泉、町有瀬見源泉、瀬見温泉会計、エコオフィスプランの推進
政策調整主幹 兼まちづくり推進室長 高橋明彦 (261) (直通Tel 43-2261)		危機管理係長 堀敦夫 (兼務)	危機管理、地域防災計画、災害対策本部、国民保護
消防防災係長 五十嵐浩一 (281)		消防団、山岳遭難、自主防災組織、防災訓練	大沼祐介 (281)
会計管理者兼会計課長 加藤伸司 (150)		定住環境係長 吉田徹 (264)	高橋亘 (262) 奥山明洋 (262) 保科直美 (261) 鈴木天民 (264) 定住促進、空き家調査及び活用、再生可能エネルギー、環境基本計画、ふるさと納税、出生祝い金
会計課長補佐 寺崎靖利 (151)		情報企画主査兼係長 奥山浩 (263)	福井信介 (257) 後藤卓哉 (261) 小野泰宏 (260) 総合計画、振興審議会、重要事業、自治協働のまちづくり、地域コミュニティ、過疎・辺地・国土利用計画、広域連携、広報広聴、広報もがみ、ホームページ、地域情報化、情報行政無線、電子自治体、電算機の維持管理
町民税務課長 鈴木隆雄 (110) 課長補佐 須貝満 (130)		会計係長 寺崎靖利 (兼務)	林真寿美 (151) 石山教子 (151) 出納、有価証券の保管、決算の調製
生活安全主査 後藤光一 (117) 生活安全係長 阿部正春 (115)		住民主査 高橋喜代美 (112) 住民係長 阿部繁寿 (114) (直通Tel 43-2012)	杏澤周美子 (112) 片倉千代 (113) 受付、相談、在留管理制度、戸籍、住民登録、印鑑証明、税証明、人権擁護、自衛官募集、国民年金、年金相談、町営バス定期券発行、古川駅駐車場使用許可証発行、国保保険証の発行
賦課係長 大場正男 (133)		栗林浩子 (116)	防犯 (地域安全対策)、交通安全対策・指導、消費者行政、環境衛生及び保全、墓地、斎場、公害、水質保全、し尿管理、ごみ処理、狂犬病予防、美化推進
収納主査兼係長 阿部信幸 (132) (直通Tel 43-2014)		岸恵美 (133) 中嶋謙 (133) 門間研 (134) 吉田榛華 (134)	町税 (住民税・固定資産税・軽自動車税・国保税) 等の賦課、固定資産 (土地・家屋・償却資産) の調査・評価、土地台帳・家屋台帳の管理、地図の管理、軽自動車の標識公布
地籍主査兼係長 菊池仁 (120・121)		井上志乃 (131) 笠原信吾 (131) 佐藤里美 (132)	町税 (住民税・固定資産税・軽自動車税・国保税) 等の徴収・納税、納税相談、納税組合
建設課長 野口忠幸 (240) 課長補佐 中嶋寿幸 (240) (公共下水道向町浄化センター長)		金田信吾 (244) 鎌田祥子 (243) 渡邊めぐみ (243)	住宅・水道・下水道・農業集落排水・浄化槽の使用料、下水道の負担金、町営住宅の入居退去、水道の受付 (開栓・閉栓)
工務主査兼係長 後藤精一 (245) (直通Tel 43-2934)		伊勢隼人 (242) 尾形健寿 (242) 結城幸悦 (242)	道路・河川・橋梁の管理、都市計画、建築確認申請、町営住宅の管理、法定外公共物の管理、除雪事業、水道・下水道・農業集落排水の管理
議会事務局長 伊藤茂 (310) (監査委員事務局書記長)	庶務係長 野口勝世 (311) (直通Tel 43-2362)	岸勝志 (245) 矢口正樹 (246)	道路・河川・橋梁の建設、災害復旧、都市計画街路・公園の建設、町営住宅の建設、水道・下水道の整備、用地取得・補償、浄化槽設置及び管理
			議会事務局兼監査委員事務局

課長及び課長補佐等	主査、係長等	係員	事務内容
交流促進課長 兼 産業振興センター長 渡辺尚見 (210) 新産業戦略主幹 兼 産業振興センター事務局長 金田綾子 (Tel 43-2340)	交流観光主査兼係長 伊藤和久 (212) (直通Tel 43-2262)	佐藤徳法 (211) 安西暁子 (211) 玉浦翔平 (212)	観光振興、誘客対策、観光・物産交流、登山道等の観光資源整備、スキー場管理、グリーンツーリズム、各種交流の促進、各種イベントの取り組み、国際交流、町県人会、前森高原交流施設活性化対策、友好会員、西公園施設管理
課長補佐 菅嶋常也 (213)	産業振興係長 阿部剛 (直通Tel 43-2340)		農商工連携、六次産業の推進、商工業の振興、企業立地促進、雇用促進、アンテナショップ、物産振興、勤労者金融、岩石採取、産直育成
農林課長 石山竹美 (220) 課長補佐 高橋国広 (228) 大場晃 (222)	農政主査兼係長 金田敏幸 (226)	川田愛美 (226) 阿部亘 (223) 齊藤美子 (221) 大沼聰美 (221)	農政全般の調製及び推進、土地利用型農業の推進、農業構造対策、農業災害補償、農業金融、担い手農業者支援、地産地消、生産及び経営技術の普及推進、生産物の安全対策、人・農地プラン、米の生産調整、経営所得安定対策、農地中間管理機構
農林係長 奥山剛 (224)	高橋一起 (227) 菅真由美 (227) 有路孝志 (224) 大沼翔平 (225) 佐藤寿子 (225)		畜産・水産業の振興、園芸作物の振興、安心・安全な農作物の振興、土地改良事業、農道整備、水田畑地化、水稻技術改良・革新に関すること、林業の振興、緑環境保全事業、農林灾害復旧事業、日本型直接支払制度
農林委員会事務局長 石山竹美 (兼務) 農業委員会事務局次長 大場晃 (兼務)	庶務係長 大場晃 (兼務)	川田愛美 (兼務) 大澤真由美 (221) 齊藤千枝 (221)	事務局庶務全般、農地法許認可、農用地利用集積、農業者年金、農地に関する相談、農地集積支援、農業振興整備、遊休農地・耕作放棄地対策
ウエルネスプラザ所長 佐藤俊浩 (最上病院長兼務) (直通Tel 43-3117 FAX 43-3115)			
健康福祉課長 二戸喜久子 (620) 課長補佐 菅秀孝 (620) 地域福祉推進主幹 渋井和之 (650)	福祉係長 奈良寿仁 (600)	遠藤真一 (601) 二戸麻理香 (601)	老人福祉、母子福祉、障がい者福祉、民生児童委員協議会、生活保護、地域福祉推進、福祉医療、児童三手当、要保護児童
地域包括支援センター長 保科まつ子 (605)	保険係長 柴田真紀 (604)	今田裕史 (604) 遠藤智也 (609) 吉田昌弘 (609) 岸英里香 (609) 北條晴美 (603)	国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、福祉医療 (子育て)、保健事業の連絡調整、最上地域介護認定審査会事務局
保健指導主査 菅原美智子 (606) 保健指導係長 高橋憲輔 (607)	木川美里 (607) 矢口彩華 (608) 今野由佳 (608) 奥山るり子 (608) 林さと美 (600)		各種健診 (乳幼児、生活習慣病予防)、予防接種、各種健康相談 (乳幼児、生活習慣病、こころの健康)、食生活改善、健康増進、母子保健
地域包括センター係長 保科まつ子 (兼務)	東海林久美 (602) 伊藤美和 (602)		総合相談・支援、権利擁護、包括的継続的ケアマネ事業、介護予防事業、居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所支援、介護家族支援、介護予防プラン作成
山形県後期高齢者医療広域連合事務局出向 佐藤貴之			
教育委員会	教育長 笠原栄 (140) 教育文化課長 北條清悦 (141) 指導主幹 小野一郎 (142) 課長補佐 菊地良兼 (148)	学校教育係長 菅智子 (143) (直通Tel 43-2053)	学校教育、児童生徒の就学、スクールバス管理、修学資金貸与、教員住宅管理、児童・生徒の就学、教科書給付、教育行政相談、セミナーハウス管理
	社会教育主査兼係長 板垣由紀子 (442) (直通Tel 43-2350)	菅智行 (441) 山上裕子 (442) 千葉恵子 (420) 菅あかり (442) 宮本浩 (441) 岸優太 (441)	社会教育、生涯学習、青少年教育、女性団体育成、公民館活動等地域活動推進、地域コミュニティ活動、図書整備
	文化スポーツ係長 大場賢一 (145) (直通Tel 43-2013)	曾根田哲心 (145) 大場賢一 (145) 伊藤美賀子 (146)	スポーツ・レクリエーションの普及・振興、競技スポーツ振興、健康新づくり、スポーツ少年団の活動強化、スキー振興・強化、芸術文化、文化財保護
	幼児教育課長兼 すこやかプラザ所長 黒坂啓蔵 (436)	伊藤友貴 (437) 小川浩 (437)	幼児教育、次世代育成支援、幼児施設整備、こどもの広場、児童図書運営、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、子育て支援

科局	区分	係員
医療科 放射線室長兼係長 佐藤清也 (569)	薬局 (511)	薬剤師 結城智博 (511) 助手 菅薫純子
	検査室 (544)	臨床検査技師 (544) 奈良幸枝 矢作亜紀 助手 野口真弓
	放射線室 (569)	放射線技師 (569) 斎藤紀子 結城 健
	リハビリテーション室 (545)	理学療法士 (545) 田中宏明 多田雄一 作業療法士 (545) 高山悠二 横山裕之
	主任管理栄養士 大場和枝 (561)	栄養士 高橋 恵 (561)
	庶務係長 荒木広康 (兼務)	岸 輝彦 (501) 中川久美 (500) 安西裕哉 (508)
看護科 総看護師長 阿部千句美 (596)	一般病棟 主任看護師 (580) 佐藤千秋 奥本和枝	看護師 (580) 結城真智子 西村あけみ 菅 智美 真柄文子 有路孝子 矢島悦子 櫻井真由美 莊司修子 岸 奈美 下山真由子 結城美和 高橋一枝 荒木美智子 斎藤美加
一般病棟看護師長 有路亜代永 (580)	外来 看護師長 (521) 阿部千句美 (兼務)	看護師 (521) 高橋真由美 菅千工子 遠藤由美 下山恵里 菅 倫子 遊佐菜穂美 曾根田めぐみ 助手 斎藤由里子
療養病棟看護師長 寺崎昭子 (585)		

科局	区分	係員
看護科 総看護師長 阿部千句美 (596)	一般病棟 主任看護師 (580) 佐藤千秋 奥本和枝	看護師 (580) 結城真智子 西村あけみ 菅 智美 真柄文子 有路孝子 矢島悦子 櫻井真由美 莊司修子 岸 奈美 下山真由子 結城美和 高橋一枝 荒木美智子 斎藤美加
	外来 看護師長 (521) 阿部千句美 (兼務)	看護師 (521) 高橋真由美 菅千工子 遠藤由美 下山恵里 菅 倫子 遊佐菜穂美 曾根田めぐみ 助手 斎藤由里子
看護師長 (682)	看護副主任 下山政恵	看護師 (682) 有路明美 (682) 中島恵美 木村雅俊 阿部けい子 香澤恵美子 大場礼子 瀬戸志穂
介護長 (682)	副介護長 (682) 結城みつ子 主任介護支援専門員 (682) 林 尚樹	介護士 (682) 山田美幸 菅ゆかり 石山栄美子 関越清美 高橋由美子 大場美智子 阿部文子 伊藤晴香 菅 幸子 菅真奈美 金田綾子 野口朝子 岸健一朗 矢口伸太郎 黄木伸彦 山口 香 菅 真希 大場貴瑛 石山久子 佐藤妙子 阿部徳子
高齢者グループホーム やすらぎの家 施設長 佐藤俊浩 (兼務) TEL 43-3125		

事務長 (681) 今井正明 (兼務)	庶務係長 (681) 荒木広康 (兼務)	事務副主任 (680) 大宮智仁	係員 (681) 笠原啓子
次長 (681) 石山久美	栄養士 (561) 高橋 恵 (兼務)	作業療法士 (545) 高山悠二 (兼務)	横山裕之 (兼務)
看護師長 (682)	看護副主任 下山政恵	看護師 (682) 有路明美 (682)	中島恵美 木村雅俊 阿部けい子 香澤恵美子 大場礼子 瀬戸志穂
介護長 (682) 結城みつ子 主任介護支援専門員 (682) 林 尚樹	副介護長 (682) 大場ひろみ 支援相談員 (681) 加藤奈津子	介護士 (682) 山田美幸 菅ゆかり 石山栄美子 関越清美 高橋由美子 大場美智子 阿部文子 伊藤晴香 菅 幸子 菅真奈美 金田綾子 野口朝子 岸健一朗 矢口伸太郎 黄木伸彦 山口 香 菅 真希 大場貴瑛 石山久子 佐藤妙子 阿部徳子	
高齢者グループホーム やすらぎの家 施設長 佐藤俊浩 (兼務) TEL 43-3125			
事務長 (130) 今井正明 (兼務)	庶務係長 (130) 荒木広康 (兼務)	事務副主任 (130) 大宮智仁 (兼務)	係員 (130) 笠原啓子 (兼務)
次長 (130) 石山久美 (兼務)	看護師長 (130) 下山政恵 (兼務)	管理者 高橋典子 (130)	介護士 (682) 伊藤千聰 佐藤千春 高橋可陽 加藤弥生 今井美和子 佐藤瀧子 藤原 徹
指定居宅介護支援事業所	最上町やすらぎ 所長 佐藤俊浩 (兼務) TEL 43-3378 FAX 43-3126		
管理者・副主任介護支援専門員 海藤京子 (681)	介護支援専門員 菊池孝聰 (681)		

施設名	氏名	施設名	氏名
あたごこども園 園長 斎藤淳子 (430) 副園長 八鍬聖江 (TEL 43-2346)	金田明子 大場鴻代 菅 彩花 大場里佳 須貝春香 吉田憲子 伊藤祐美 笠原里美 石山真由美 二戸裕紀 斎藤悠紀子 阿部絵未 手塚千絵 阿部直子 有路恵里 富澤 梓 海藤香澄 後藤由香	給食センター所長 (TEL 43-2104)	学校栄養教諭 佐藤幸枝 食育推進指導員 齊藤貴義 岸 綾子 (栄養士)
大堀保育所 所長 石山和喜子 所長代理 橋本美香 (TEL 44-2804)	二戸陽子 結城成佳 佐藤博美 大場喜美佳 高橋くにえ 小川かおり 野口あゆみ 菅めぐみ 高橋 薫 阿部愛彩 西塚幸子	中央公民館 館長 北條清悦 (兼務) (TEL 43-2350)	地域おこし協力隊 宮本 浩 (441) 社会教育指導員 菅あかり (442)
富沢保育所 所長 大沼幸子 所長代理 阿部多美子 (TEL 45-2821)	小林美香 菅薫美咲 野口久美子	向町地区公民館 (中央公民館併設) 館長 菊池和子 (非常勤)	集落支援員 岸 優太 (441)
あかくら幼稚園 園長 奥山衛 (赤倉小学校長) 所長代理 井上智美 (TEL 45-2548)	伊藤 瞳 岸 秀貴 (兼務)	大堀地区公民館 館長 高橋 久 (非常勤) TEL 45-2527	集落支援員 尾形勝雄
みつわ幼稚園 園長 高橋和彦 (東法田小学校長) 副園長 後藤淳子 (TEL 43-2020)	大場恵利子 大場理子 高橋秀充 (兼務)	大堀小学校 TEL 44-2001 FAX 44-2002	用務員 荒川克博 特別支援教育支援員 高橋由佳 結城かおり 加藤美喜
重要文化財 旧有路家住宅(封人の家) (TEL 45-2397)	管理人 中鉢藤一郎	月橋小学校 TEL 43-2597 FAX 43-2043	用務員 小林 健 特別支援教育支援員 高橋理恵
前森牧場 (TEL 43-3025)	オペレーター 押切 章 伊藤幸一 二戸孝芳 牧 栄 庄司信一 大場悠矢	向町小学校 TEL 43-2266 FAX 43-2267	学校管理指導員 大江清勝 特別支援教育支援員 香澤紗由香 井上雄貴 伊藤恵子 (兼務)
農遊館・前森高原ビアハウス TEL 43-3522 FAX 43-3292		東法田小学校 TEL 43-2799 FAX 43-2799	用務員 高橋秀充 特別支援教育支援員 伊藤恵子 (兼務)
簡易宿泊施設りんどう TEL 44-2822 FAX 44-2833		富沢小学校 TEL 45-2811 FAX 45-2377	用務員 齊藤 守 特別支援教育支援員 高橋美知子
マンスリー・マンションせんしん館 TEL 45-3533 (FAX 兼)		赤倉小学校 TEL 45-2810 FAX 45-2866	用務員 岸 秀貴 特別支援教育支援員 菅 滋美
地域間交流施設 (大場満郎冒険学校) TEL 43-4563 (FAX 兼)		最上中学校 TEL 43-4115 FAX 43-2186	用務員 二戸広行 学力向上支援員 笠原智広 特別支援教育支援員 田中大地 庄司大地
ふれあいの里 (ゲートボール場) TEL 45-2033		町民体育館・温水プール TEL 44-2226 (FAX 兼)	
公共下水道向町浄化センター センター長 中嶋寿幸 (兼務) TEL 43-4601		子育て支援センターひまわり TEL 43-4422	

最上町社会福祉協議会 会長 高橋重美 TEL 43-3180 FAX 43-3119			
事務局長 (兼務) 渋井和之 (650)	庶務係長 押切謙二 (652) 業務係長 阿部竜也 (663)	林 優子 (663) 板垣太郎 (652)	
総括介護サービス責任者 兼居宅介護支援責任者 高橋和子 (665) 訪問介護責任者 遠藤悦子 (667) 通所介護責任者 尾形裕見子 (653) 訪問入浴責任者 生龜和美 (653)	中嶋寿子 (653) 石山 薫 (667) 木川京子 (653) 尾形幸一 (653) 大塚文子 (654) 大場 積 (654) 佐藤善丈 (665) 遊佐忠孝 (654) 井上浩子 (654) 山口真由美 (654) 齊藤ひろみ (654) 大沼幸子 (667) 大場知佳子 (667)	健康クラブ 後藤一志 (661) 香澤保代 (661)	

ちょうかんす まちの鳥瞰図



元気なまちをともにつくるう



表紙の写真は、森の感謝祭“復興紋の森づくり”的一コマです。（平成25年6月）

平成26年度版

「まちの仕事と予算」

【発行年月／平成26年4月 増刊号】

編集／最上町役場総務課 まちづくり推進室

TEL.0233-43-2111 FAX.0233-43-2345

URL／<http://mogami.tv>

E-mail／machizukuri@mogami.tv